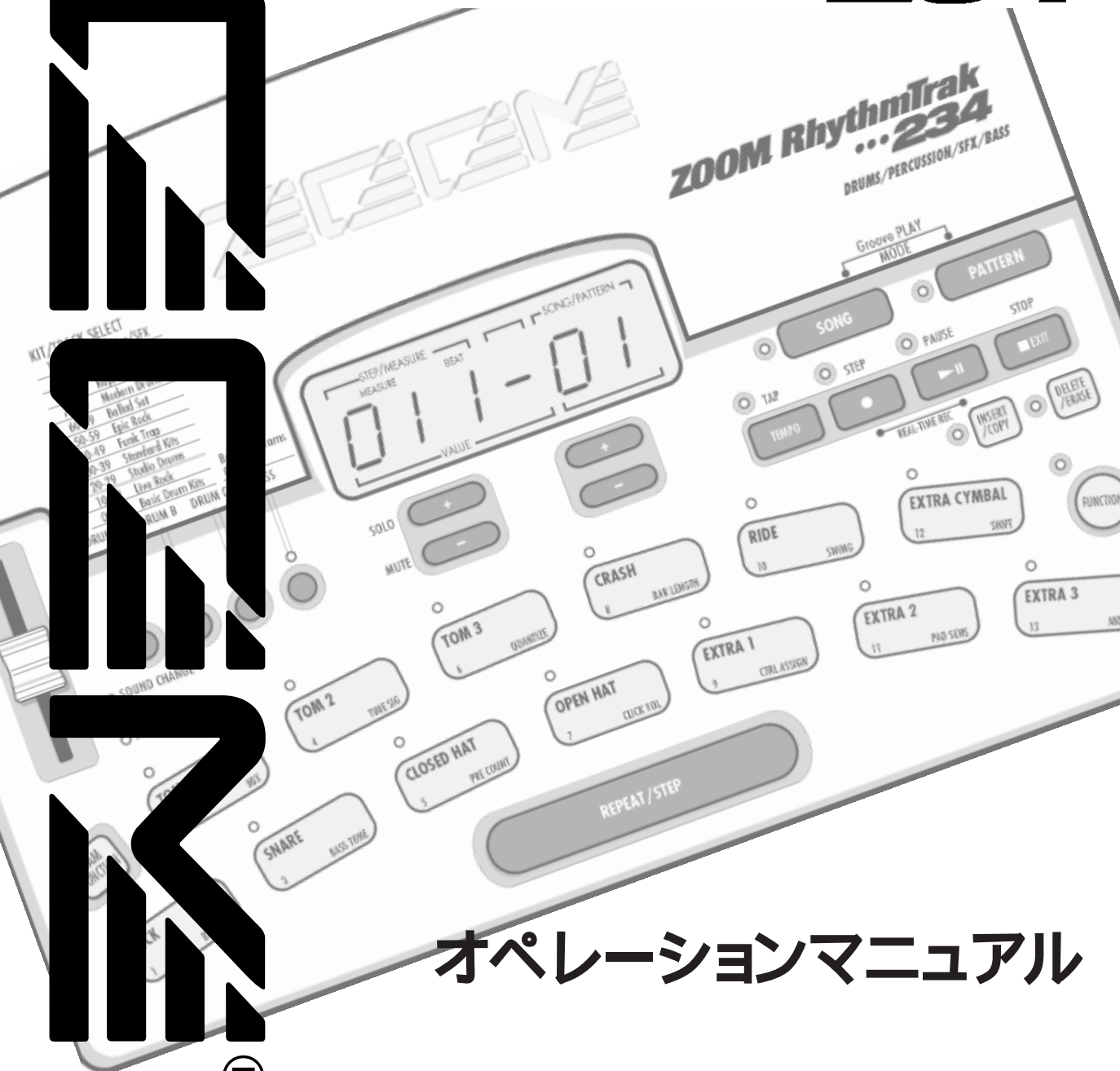




ZOOM RhythmTrak ...234



オペレーションマニュアル



安全上のご注意 / 使用上のご注意

安全上のご注意

この取扱説明書では、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐための注意事項を、マークを付けて表示しています。マークの意味は次の通りです。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性、または物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本製品を安全にご使用いただくために、つぎの事項にご注意ください。



電源について

警告

RhythmTrak...234の電源には付属のACアダプターを使用します。これ以外のACアダプターでご使用になりますと、故障や誤動作あるいは火災などの原因となり危険です。

AC100Vと異なる電源電圧の地域(たとえば国外)で、RhythmTrak...234をご使用になる場合は、必ずZOOM製品取り扱い店に相談して適切なACアダプターをご使用ください。

長時間ご使用にならない場合は、ACアダプターをACコンセントから抜いておくようにしてください。



使用環境について

注意

RhythmTrak...234をつぎのような場所でご使用になりますと、故障の原因となりますのでお避けください。

温度が極端に高くなる場所や低くなる場所
湿度が極端に高いところ
砂やほこりの多いところ
振動の多いところ



取り扱いについて

注意

RhythmTrak...234は精密機器ですので、スイッチ類には無理な力を加えないようにしてください。必要以上に力を加えたり、落としたりぶつけるなどの衝撃は故障の原因となります。

接続ケーブルと入出力ジャックについて



注意

ケーブルを接続する際は、各機器の電源スイッチを必ずオフしてから行ってください。本製品を移動するときは、必ずすべての接続ケーブルとACアダプターを抜いてから行ってください。



改造について

注意

ケースを開けたり、改造を加えることは、故障の原因となりますので絶対におやめください。改造が原因で故障が発生しても当社では責任を負い兼ねますのでご了承ください。

使用上のご注意

他の電気機器への影響について

RhythmTrak...234は、安全性を考慮して本体からの電波放出および外部からの電波干渉を極力抑えております。しかし、電波干渉を非常に受けやすい機器や極端に強い電波を放出する機器の周囲に設置すると影響が出る場合があります。そのような場合は、RhythmTrak...234と影響する機器とを十分に距離を置いて設置してください。デジタル制御の電子機器では、RhythmTrak...234も含めて、電波障害による誤動作やデータの破損、消失など思わぬ事故が発生しかねません。ご注意ください。

お手入れについて

パネルが汚れたときは、柔らかい布で乾拭きしてください。それでも汚れが落ちない場合は、湿らせた布をよくしぼって拭いてください。

クレンザー、ワックスおよびアルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

故障について

故障したり異常が発生した場合は、すぐにACアダプターを抜いて電源を切り、他の接続ケーブル類もはずしてください。「製品の型番」「製造番号」「故障、異常の具体的な症状」お客様のお名前、ご住所、お電話番号」をお買い上げの販売店またはズームサービスまでご連絡ください。

保証書の手続きとサービスについて

RhythmTrak...234の保証期間は、お買い上げいただいた日から1年間です。ご購入された販売店で必ず保証書の手続きを行なってください。万一保証期間内に、製造上の不備による故障が生じた場合は、無償で修理いたしますのでお買い上げの販売店に保証書を提示して修理をご依頼ください。ただし、つぎの場合の修理は有償となります。

1. 保証書のご提示がない場合。
2. 保証書にご購入の年月日、販売店名の記述がない場合。
3. お客様の取り扱いが不適当なため生じた故障の場合。
4. 当社指定業者以外での修理、改造された部分の処理が不適当であった場合。
5. 故障の原因が本製品以外の、他の機器にある場合。
6. お買い上げ後に製品を落としたり、ぶつけるなど、過度の衝撃による故障の場合。
7. 火災、公害、ガス、異常電圧、および天災(地震、落雷、津波など)によって生じた故障の場合。
8. 消耗品(電池など)を交換する場合。
9. 日本国外でご使用になる場合。

保証期間が切れますと修理は有償となりますが、引き続き責任を持って製品の修理を行ないます。

このマニュアルは将来必要となることがありますので、必ず参照しやすいところに保管してください。

目次

安全上のご注意 / 使用上のご注意	
はじめに	1
各部の名称	2
フロントパネル	2
リアパネル	2
接続しましょう	3
演奏前の準備	3
クイックガイド	4
クイックガイド	
デモ曲を聴いてみよう	4
クイックガイド	
パッドを叩いて音を鳴らしてみよう	6
クイックガイド	
パターンを鳴らそう	8
クイックガイド	
グループプレイを楽しもう	10
パッドで演奏してみよう	
(マニュアル演奏)	12
パッドを叩いて演奏する	12
スライダーを使う	
(モディファイ機能)	13
マニュアル演奏するキット /	
プログラムを選ぶ	14
パターンを演奏してみよう	
(パターンモード)	15
パターンを再生する	15
トラックのキット / プログラムを	
変更する	16
パターン演奏のテンポを変える	17
パターンを録音してみよう	
(リアルタイム録音)	18
不要なパターンを消去する	18
ドラムトラックのリアルタイム録音	19
ベーストラックのリアルタイム録音	23
パターンのステップ録音	27
ステップ録音とは	27
ドラムトラックのステップ録音	28
ベーストラックのステップ録音	30
パターンのコピー	32
ソングを作ろう	
(ソングモード)	33
ソングとは?	33
ソングの記録と再生	34
ソングの編集	37
ソングの消去	38
パッドを使ってパターンを鳴らそう	
(グループプレイ)	39
ファンクションキーの設定	41
ファンクションキーの基本操作	41
ファンクションキーの各項目	43
RhythmTrak...234の応用例	48
FP01でRhythmTrak...234を	
コントロールする	48
FS01でRhythmTrak...234を	
コントロールする	49
MIDI機器と同期演奏させる	50
MIDI機器からRhythmTrak...234の	
音を鳴らす	51
RhythmTrak...234を工場出荷時の	
状態に戻す(イニシャライズ)	52
デモ演奏を聴くには	53
メモリの残量を確認するには	53
故障かな?と思われる前に	54
製品仕様	55
資料	
MIDIインプリメンテーション	
MIDIインプリメンテーションチャート	

はじめに

このたびは、RhythmTrak...234をお買い上げいただきましてありがとうございます。
RhythmTrak...234は、以下のような特長を備えたドラムマシンです。

3種類のドラムトラック、およびベーストラックから構成されるバックイング演奏(パターン)が楽しめます。あらかじめ代表的なリズムがプログラムされた99種類のプリセットパターンと、お客様ご自身のパターンを書き込める99種類のユーザーパターンが利用できます。

最大255のパターンを並べて1曲分のバックイング演奏(ソング)を作成できます。ソングは最大99曲まで作れます。

174種類の超リアルなドラム/ベース音色を搭載。バンドで演奏しているような感覚で練習やライブ演奏が楽しめます。ギタリストやキーボードプレイヤーのデモテープ制作にも最適です。

外部の楽器を入力するLINE IN端子を装備。ZOOM503などのマルチエフェクターを通した楽器音とバックイング演奏をミックスし、RhythmTrak...234の出力端子から出力できます。

シンプルな操作を徹底追求。ドラムマシンやシーケンサーを使った経験のない方でも、簡単にお使いいただけます。

パネル上のパッドを叩いてパターンを切り替えながら演奏できるグループプレイモードを搭載。ライブ演奏やDJプレイにも活用できます。

スライダーを使ったモディファイ機能を内蔵。ピッチ、音量、音色をマニュアルで変化させながら演奏できます。

オプションのフットペダルFP01を接続することで、ピッチ、音量、音色を足元で連続的に変化させることができます。

オプションのフットスイッチFS01を接続することで、例えばバスドラムの音色を足元で鳴らしたり、オープンハイハットとクローズハイハットの音色を足元で切り替えることができます。

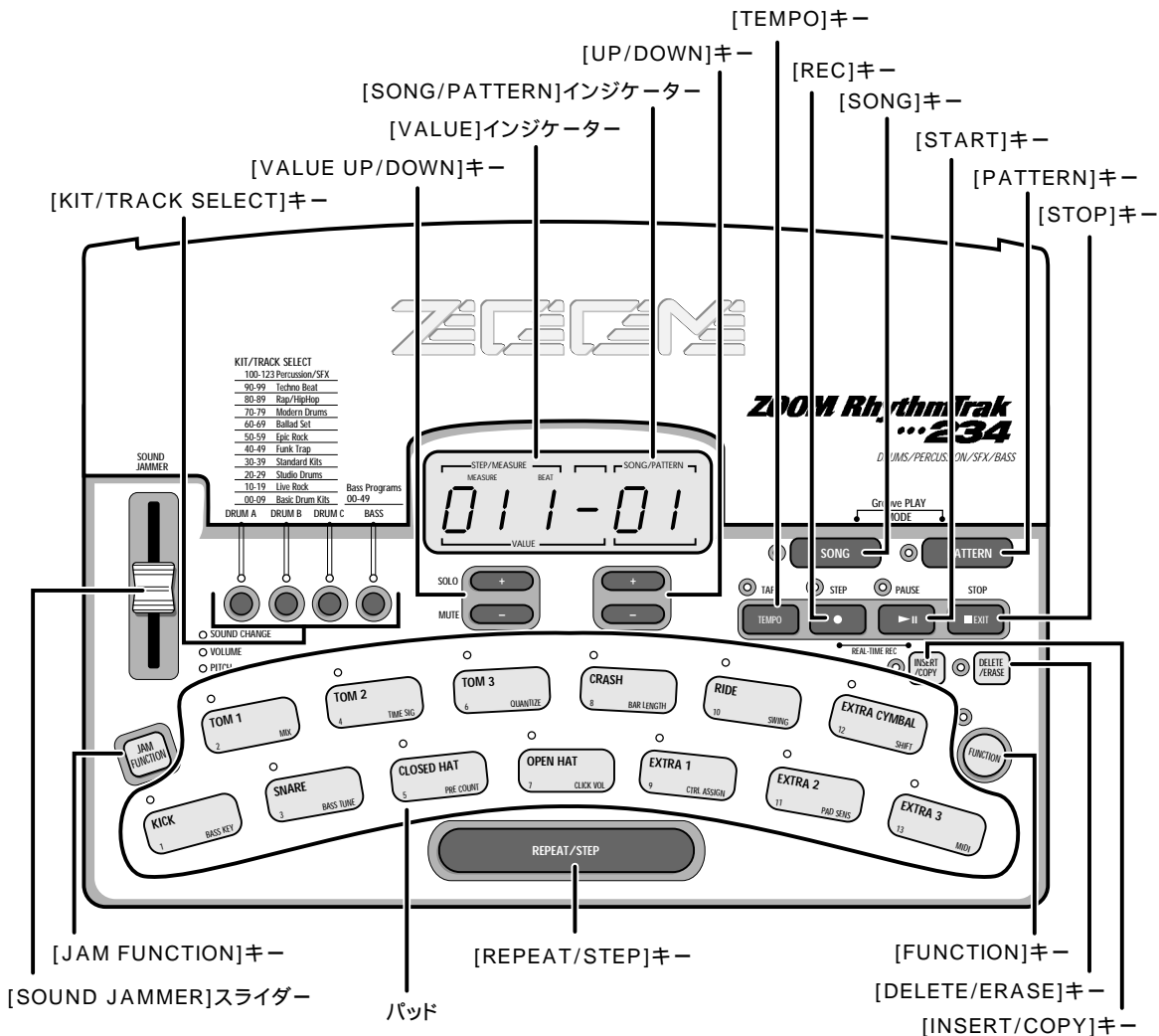
MIDI IN端子を装備。外部MIDIシーケンサーとの同期演奏や、外部MIDI機器からRhythmTrak...234の音を鳴らすことが可能です。

RhythmTrak...234の機能をフルに発揮していただくために、このマニュアルをよくお読み下さるようお願い申し上げます。

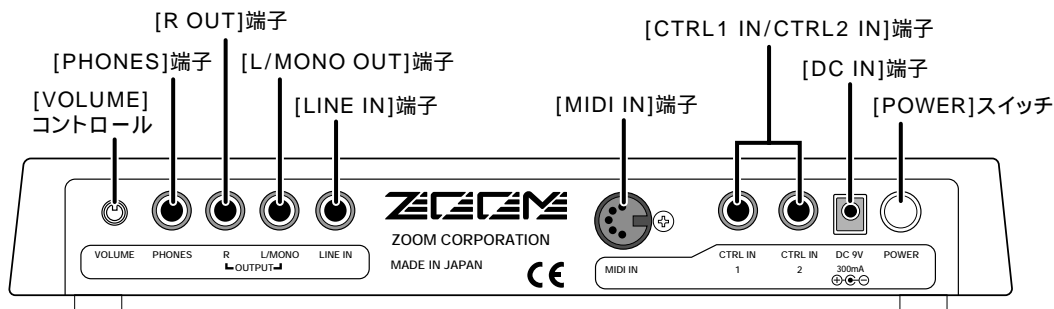
各部の名称

各部の名称

フロントパネル

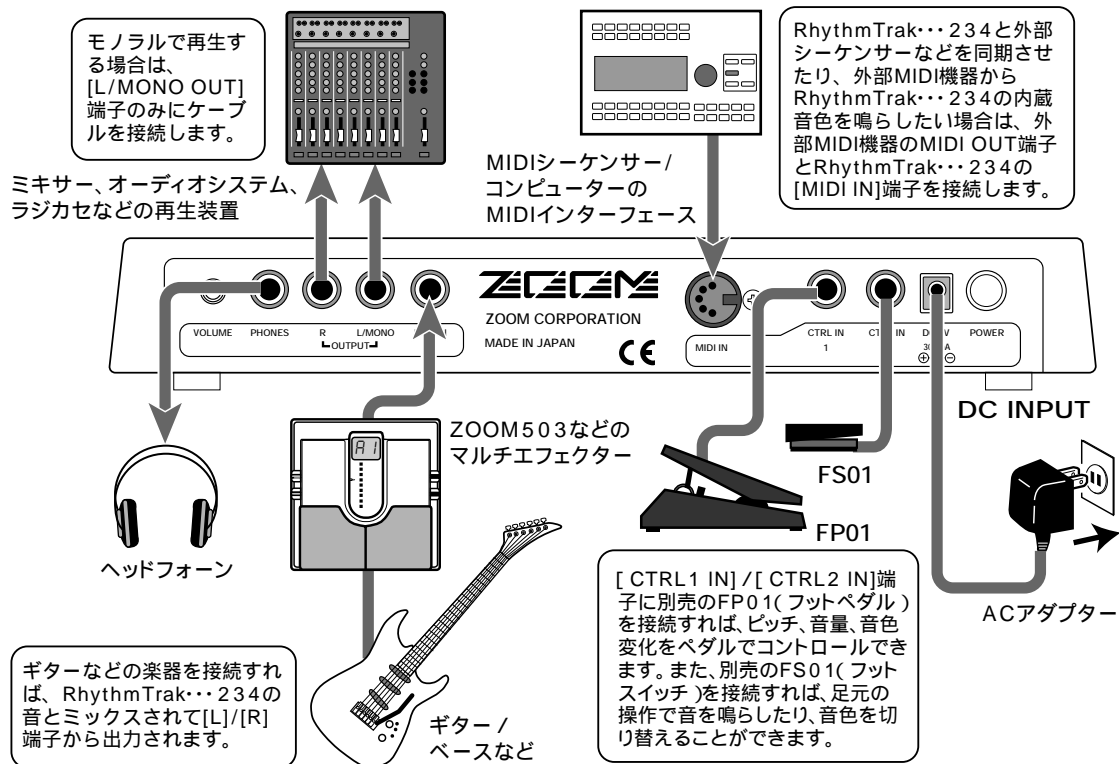


リアパネル



フロントパネル/リアパネルの操作子や端子類は[]で括って表記します。

接続しましょう



演奏前の準備

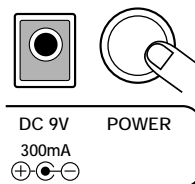
接続が済んだら、つぎの操作で音量を調節します。

- 操作 1** 再生装置の電源を切り、音量を完全にしぼった状態で、各機器が正しく接続されていることを確認してください。

電源が入ったまま接続を行ったり、音量が上がったまま電源を入れると、スピーカーを損傷することがありますのでご注意ください。

- 操作 2** RhythmTrak...234の電源を入れてください。

[DC IN]端子に付属のACアダプターを接続して、[POWER]スイッチをオンにしてください。



- 操作 3** 再生装置の電源を入れてください。

パッドを叩いて音を出しながら、RhythmTrak...234の[VOLUME]コントロールと再生装置の音量を適切な値に調節しましょう。

クイックガイド

このクイックガイドでは、すぐに使ってみたいという方のために、RhythmTrak... 234の楽しみ方をいくつか紹介します。また、このマニュアルで使用するRhythmTrak... 234の用語についても説明しておきましょう。

クイックガイド デモ曲を聴いてみよう

RhythmTrak... 234には、内蔵音色を活かしたデモ曲が内蔵されています。まずは、このデモ曲を聴いてみましょう。

1 RhythmTrak... 234を再生装置に接続し、電源を入れる

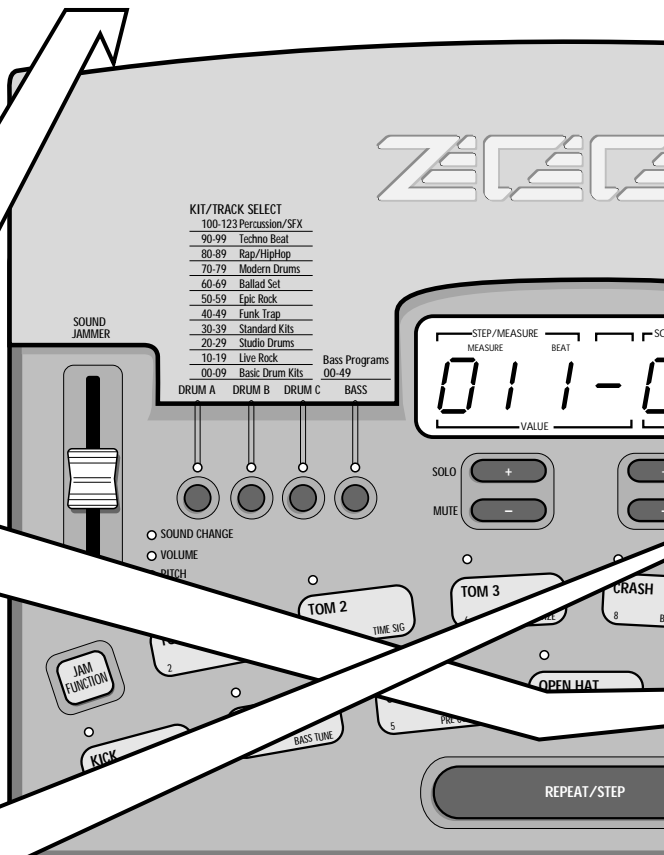
2 [FUNCTION]キーを押す

[FUNCTION]キーの左上にあるLEDが点滅していることを確認してください。

3 [SONG]キーを押す

このキーを押した瞬間に、デモ演奏が始まります。

まるで生のバンドを聴いているような、迫力あるバックিং演奏ですね。さまざまなドラム音色、パーカッション音色、ベース音色が使われている点にも注目してください。このようにドラム、パーカッション、ベースによるリアルなバックিং演奏を1台でこなすマシン、これがRhythmTrak... 234です。



ドラムキットとベースプログラムについて

RhythmTrak... 234のバックিং演奏は、最大3種類の“ドラムキット”と1種類の“ベースプログラム”から構成されています。

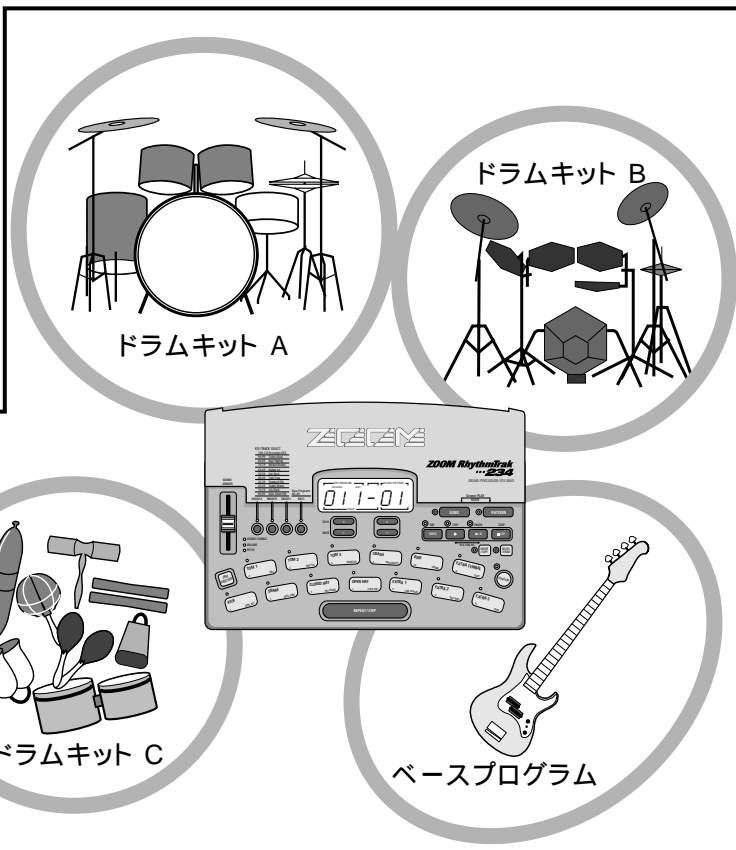
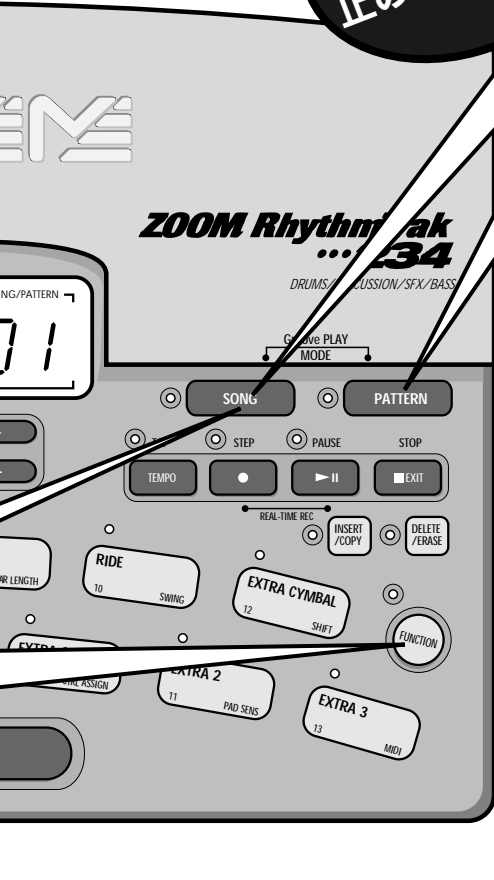
ドラムキットとは、バスドラム、スネアドラム、タムなどのドラム音色、コンガ、ボンゴなどのパーカッション音色、効果音を音楽ジャンルや用途に応じて組み合わせたものです。RhythmTrak... 234には124種類のドラムキットが用意されており、

デモ演奏を
止めたいときは

4 [PATTERN]キーまたは [SONG]キーを押す

[PATTERN]キーを押した場合.....RhythmTrak... 234がパターンモード(パターンを演奏したり録音するモード)になります。

[SONG]キーを押した場合.....RhythmTrak... 234がソングモード(パターンを並べて1曲分のバックিং演奏を作るモード)になります。



その中で3種類を同時に演奏
できます。
また、ベースプログラムとは、
エレクトリックベース、アコー
スティックベース、シンセバ
ースなどのベース音色のこ
とで、50種類のベースプロ
グラムのうちいずれか1つを
選択して演奏できます。

クイックガイド

パッドを叩いて音を鳴らしてみよう

RhythmTrak...234のフロントパネルにある13個のパッドを使って、ドラムキットやベースプログラムの音を鳴らしてみましょ。

1 電源を入れる

2 [PATTERN]キーを押す

[PATTERN]キーのLEDが点灯し、RhythmTrak...234がパターンモードとなります。

3 [DRUM A]キーを押す

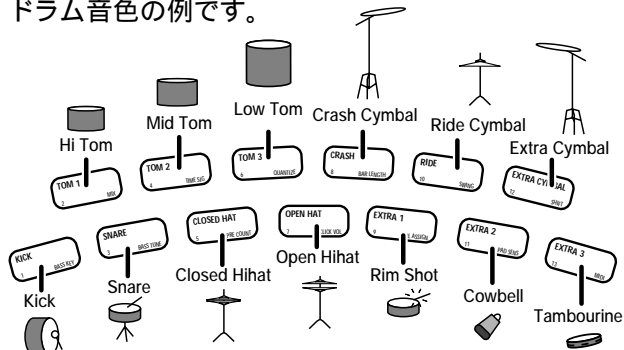
[DRUM A]のLEDが点灯します。これでパッドを使ってドラムキットを演奏できるようになります。



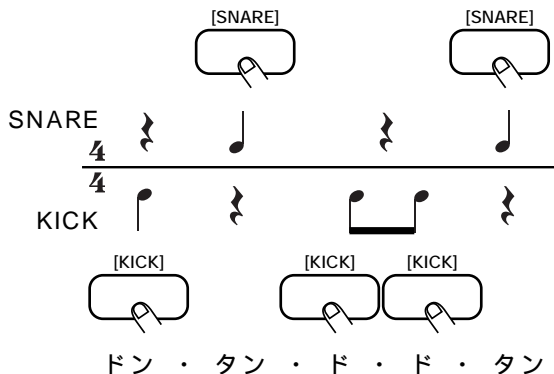
[DRUM B]キー、[DRUM C]キーを選んだ場合でも、同じようにドラムキットを演奏できます。

4 パッドを叩く

さあ、パッドを叩いてみましょう。パッドに応じて異なるドラム音色が聞こえるはずですよ。
RhythmTrak...234の13個のパッドには、現在選ばれているドラムキット/ベースプログラムに応じて、さまざまな音色が割り当てられています。例えば次の図は、ドラムキットを選んだときに、各パッドに割り当てられるドラム音色の例です。



試しにパッド1 (KICK) とパッド3 (SNARE) を次の図のように叩けば、バスドラムとスネアドラムによるリズムが演奏できます。



ベースプログラムを
パッドで演奏したい
ときは

6 [BASS]キーを押す

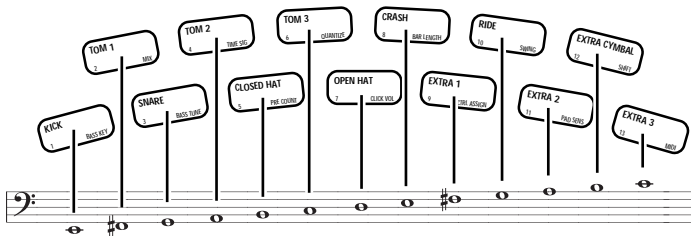
[BASS]キーのLEDが点灯し、ベースプログラムをパッドで演奏できるようになります。試しにパッドを叩いてみましょう。パッドごとに音高(ピッチ)の異なるベース音が聞こえるはずです。

ベースプログラムは、ドラムキットのように異なる音色の組み合わせではなく、同じベース音色の音高の異なる音をパッドに割り当てたもので、13個のパッドを鍵盤に見立てて演奏できます。

次の図は、ベースプログラムを選んだときにパッドごとに割り当てられた音高の例です。



ベースプログラムを変えたいときはドラムキットと同じように、[BASS]キーを押しながら[VALUE UP/DOWN]キーのいずれか一方を押して、プログラム番号(0~49)を変更します。



音高の割り当ては、パターンによって異なります。

ドラムキットを
変えたいときは

5 [DRUM A]キーを押しながら...

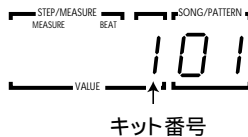
[DRUM A]キーを押している間、[VALUE]インジケータに現在選ばれているキット番号(0~123)が表示されます。



[VALUE UP/DOWN]キーのいずれか一方を押す

[+]キーを押した場合.....1つ上のキット番号が選ばれます。

[-]キーを押した場合.....1つ下のキット番号が選ばれます。



クイックガイド パターンを鳴らそう

RhythmTrak...234には、最大3種類のドラムキットとベースプログラムを使ったパターン(数小節単位のバックিং演奏)が内蔵されています。ここではパターンの演奏を聴いてみましょう。

① 電源を入れる

② [PATTERN]キーを押す

[PATTERN]キーのLEDが点灯し、RhythmTrak...234がパターンモードになります。

[SONG/PATTERN]インジケータには現在選ばれているパターン番号が表示されます。



RhythmTrak...234では、次の198種類のパターンが使用できます。

01~99.....読み書き可能なパターン(ユーザーパターン)

P01~P99.....読み出し専用パターン(プリセットパターン)

工場出荷時には、ユーザーパターンにもプリセットパターンと同じ内容が書き込まれています。

③ [▶||](START)キーを押す

現在選ばれているパターンの演奏が開始されます。

RhythmTrak...234のパターンは、3種類のドラムキットと1種類のベースプログラムの演奏を記録したものと考えることができます。この演奏を記録する場所を“トラック”と呼びます。

RhythmTrak...234のパターンには、ドラムトラックA、ドラムトラックB、ドラムトラックC、ベーストラックという4本のトラックがあり、ドラムトラックA~Cにはそれぞれ異なるドラムキットの演奏が、ベーストラックにはベースプログラムの演奏が記録されています。

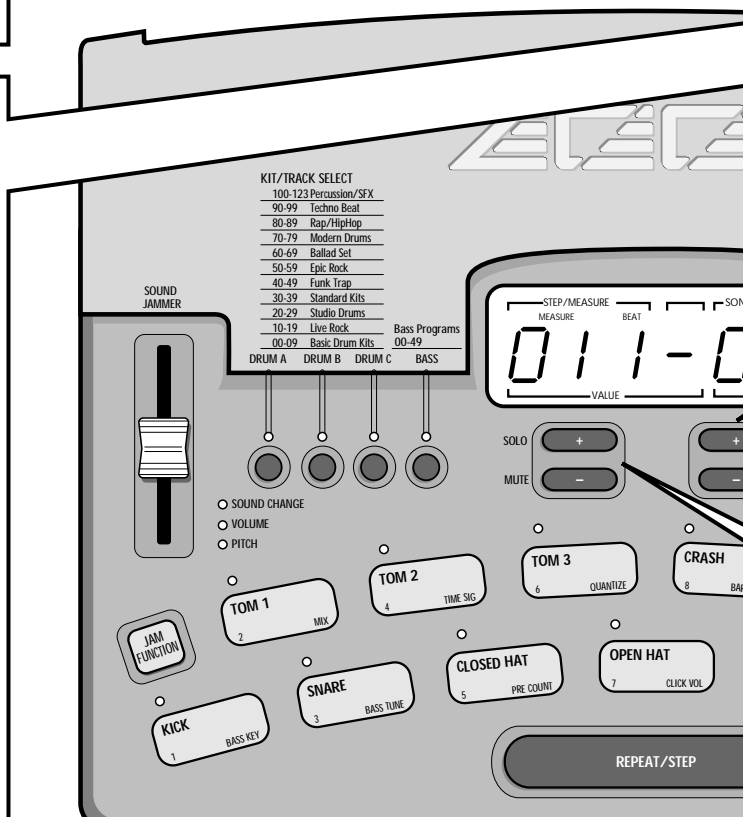
パターン

ドラムトラック A

ドラムトラック B

ドラムトラック C

ベーストラック



パターンを変えたいときは

4 [UP/DOWN]キーのいずれか一方を押す

[+]キーを押した場合.....1つ上のパターン番号が選ばれます。

[-]キーを押した場合.....1つ下のパターン番号が選ばれます。



テンポを変えたいときは

5 [TEMPO]キーを押しながら...

[TEMPO]キーを押している間、[VALUE]インジケータにテンポの値が表示されます。



[VALUE UP/DOWN]キーを押す

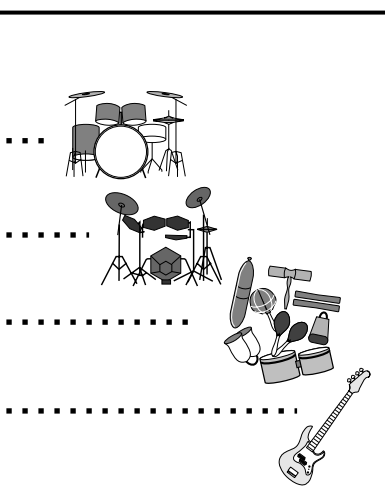
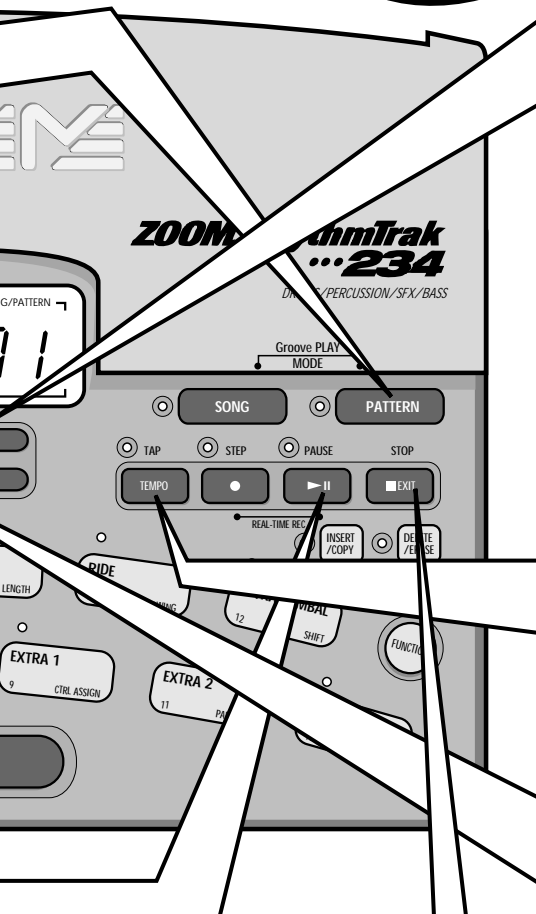
[+]キーを押した場合.....テンポの値が上がります。

[-]キーを押した場合.....テンポの値下がります。



パターンの演奏を止めたいときは

6 [EXIT](STOP)キーを押す



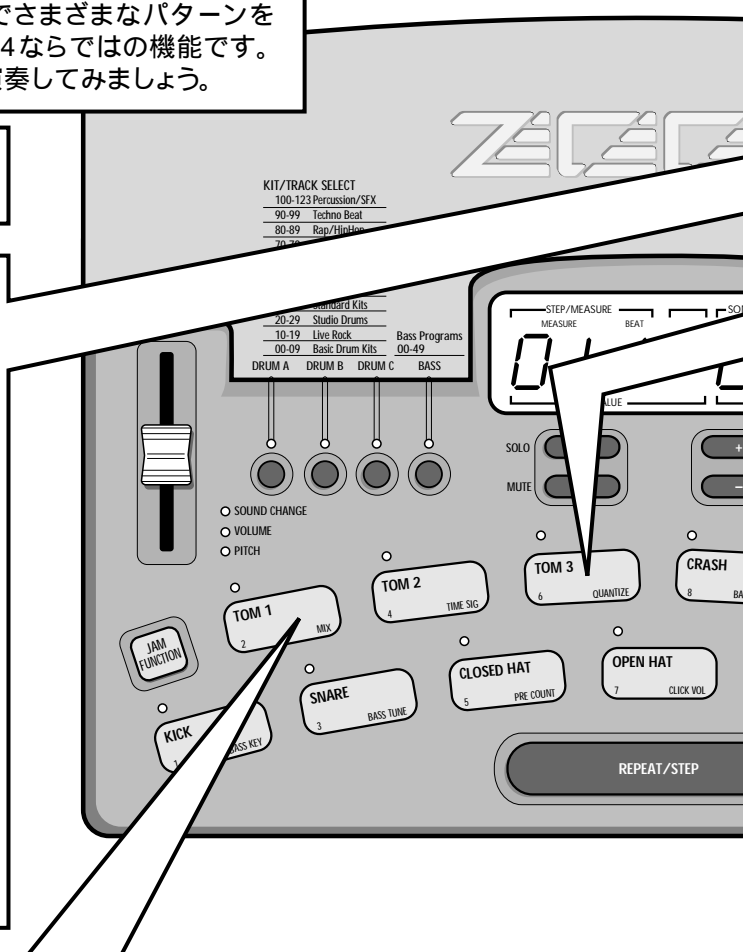
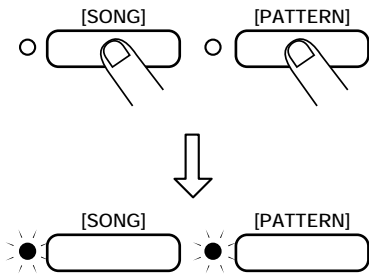
クイックガイド グループプレイを楽しもう

“グループプレイ”とは、パッドを押すだけでさまざまなパターンを切り替えて演奏する、RhythmTrak...234ならではの機能です。DJ気分でさまざまなパターンをつなげて演奏してみましょう。

① 電源を入れる

② [SONG]キーと [PATTERN]キーを同時に押す

[SONG]キーのLEDと[PATTERN]キーのLEDが点灯し、RhythmTrak...234がグループプレイモードとなります。

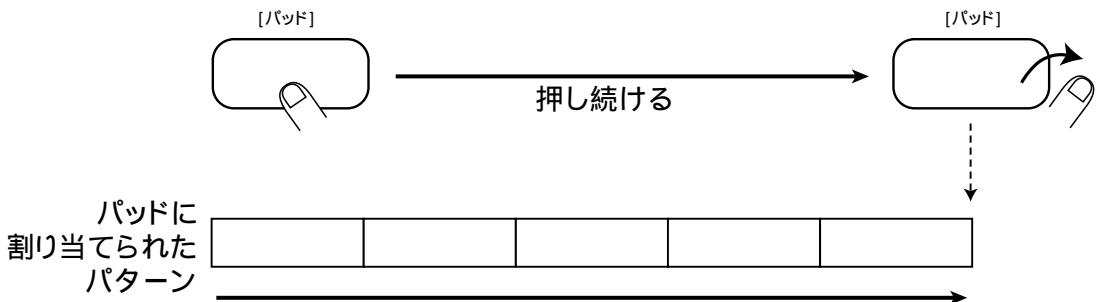


クイックガイド

③ パッドを押す

パッドを押している間、そのパッドに割り当てられたパターンが演奏されます。各パッドにどんなパターンが割り当てられているのかを試してみましょう。

HINT パッドに割り当てられたパターンは変更できます(P39)。



複数のパターンを同時に鳴らしたいときは

5 複数のパッドを同時に押す

グループプレイでは、同時に4つまでのパターンを演奏できます。ベーシックなドラムパターンを鳴らしながら別のパッドを押さえ、ベースパターンやスネアのフィルインを重ねてみましょう。また、パッドを押すタイミングをずらせば、より複雑なリズムが作れます。

グループプレイを止めたいときは

6 [SONG]キーまたは[PATTERN]キーを押す

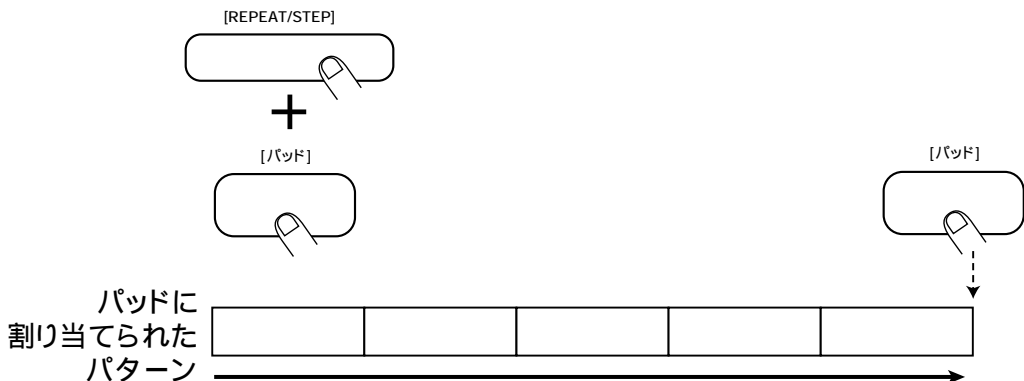
[PATTERN]キーを押した場合……RhythmTrak…234がパターンモードになります。

[SONG]キーを押した場合……RhythmTrak…234がソングモードになります。

パッドを離してもパターン演奏を続けたいときは

4 [REPEAT/STEP]キーを押しながらパッドを押す

こうすれば、パッドを離してもパターンはそのまま演奏を続けます。例えばベーシックなドラムパターンを常に鳴らしておきたいときに、便利なテクニックです。パターン演奏を止めたいときには、もう一度同じパッドを押します。

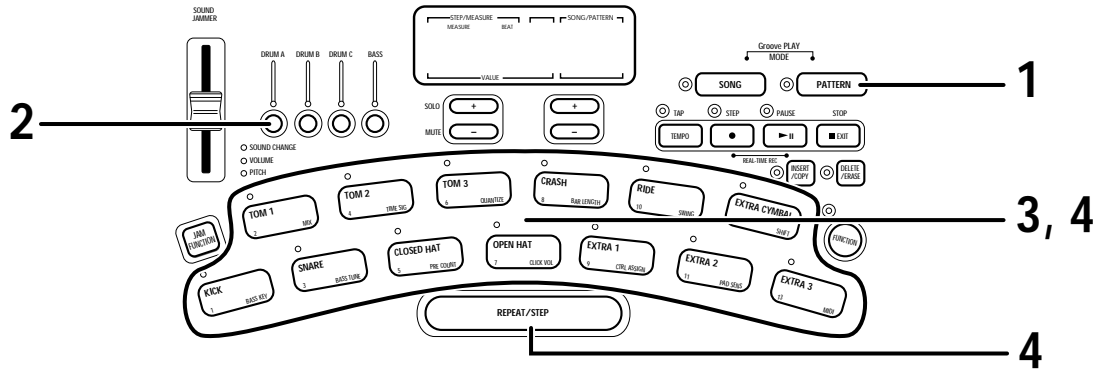


パッドで演奏してみよう(マニュアル演奏)

RhythmTrak...234は、単にパターンやソングを再生するだけでなく、パッドを叩いたり[SOUND JAMMER]スライダーを動かしてマニュアル演奏を楽しむことができます。ここではマニュアル演奏の方法を説明します。

パッドを叩いて演奏する

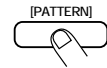
RhythmTrak...234のパッドには、現在選ばれているドラムキットに応じて、それぞれ異なる音色が割り当てられています。パッドを叩いてRhythmTrak...234のリアルな音色を楽しんでみましょう。



パッドで演奏してみよう(マニュアル演奏)

操作 1 [PATTERN]キーを押してください。

[PATTERN]キーを押すと、RhythmTrak...234がパターンモードとなります。このとき、[PATTERN]キーのLEDが点灯します。



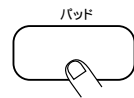
操作 2 [KIT/TRACK SELECT]キーの中から[DRUM A]キーを押してください。

マニュアル演奏を行うときは、[KIT/TRACK SELECT]キーを使って演奏するドラムキットまたはベースプログラムを選びます(選ばれたキーのLEDが点灯します)。[DRUM A]、[DRUM B]、[DRUM C]キーを押したときはドラムキットA~Cが、[BASS]キーを押したときはベースプログラムが選ばれます。ここではドラムキットAを選んでみましょう。



操作 3 お好きなパッドを叩いてください。

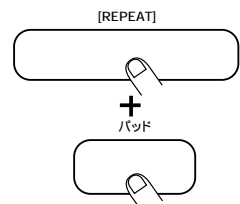
パッドを叩いた瞬間にそのパッドのLEDが短い時間点灯し、キット内でそのパッドに割り当てられた音色が鳴ります。また、パッドを叩く強弱に応じて音量が変化します。



操作2で[BASS]キーを押した場合はベースプログラムの音色を鳴らすことができます。なお、ドラムキットの場合はパッドをすぐ離しても音が最後まで鳴りますが、ベースプログラムの場合はパッドを押している間のみ音が鳴り続けます。

操作 4 [REPEAT/STEP]キーを押しながらパッドを押さえてください。

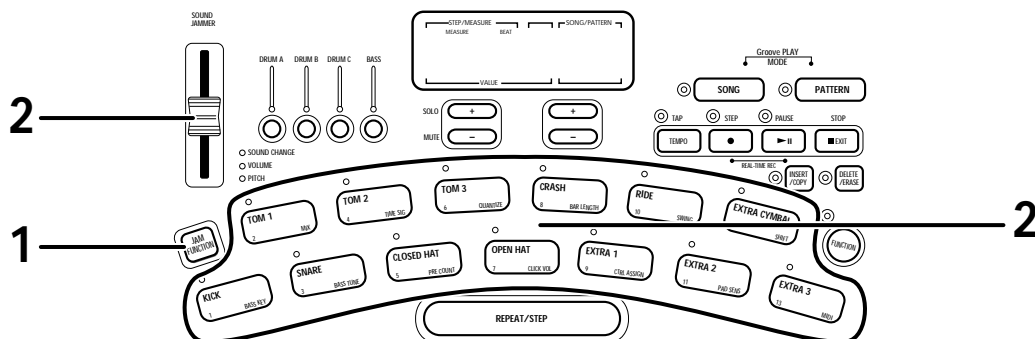
パッドを押している間、そのパッドの音色で連打音が鳴ります。連打の速さはテンポに応じて変化します。



連打する間隔を調節することもできます。44ページ(QUANTIZEの項)をご参照ください。

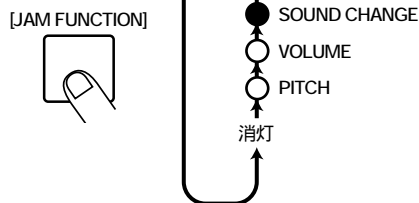
スライダーを使う (モディファイ機能)

パッドを叩きながら[SOUND JAMMER]スライダーを動かすことで、ピッチ、音量、音色を連続的に変化させながら演奏できます。



操作 1 [JAM FUNCTION]キーを押して変化させたい要素を選んでください。

キーを押すごとに、選択されている要素を示すLEDの点灯がPITCH
VOLUME SOUND CHANGE 消灯 (何も選択されていない状態)
と切り替わります。

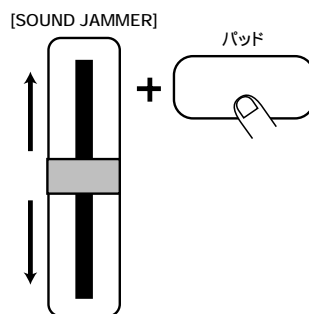


操作 2 [SOUND JAMMER]スライダーを動かしながらパッドを叩いてください。

PITCHを選んだ場合.....スライダーの中央部分を基準として、スライダーを上下に動かせばピッチが上下します。変化幅は音色によって異なります。

VOLUMEを選んだ場合.....スライダーを上下に動かすことで音量の調節ができます。このとき、パッドを叩く強さは無視されます。

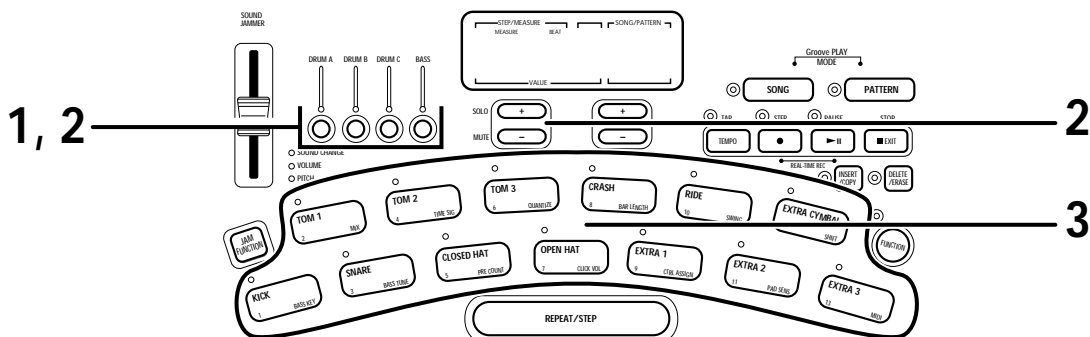
SOUND CHANGEを選んだ場合.....スライダーの中央部分では音色の変化はありません。スライダーを上下に動かすことでパリエーション1、パリエーション2などと音色を変化させることができます。音色変化の効果は、音色ごとに異なります。



- 一度に操作できる要素は1種類のみです。操作する要素を切り替えると、それまで操作していた要素は元の設定値に戻ります。
- 操作する要素を切り替えたとき、スライダーが現在の設定値を通過したときに初めて有効となります。例えば、スライダーを0の位置にしたままVOLUMEを選んで、音量はゼロにはなりません。スライダーを上げていき、スライダーの中央を通過したとき(このとき[SOUND JAMMER]スライダーのLEDが1回点滅します)から音量が変化します。

マニュアル演奏するキット / プログラムを選ぶ

ドラムキット(100種類)、パーカッション / SFXキット(24種類)、ベースプログラム(50種類)の中から色々なキット / プログラムの音をマニュアル演奏で聞いてみましょう。



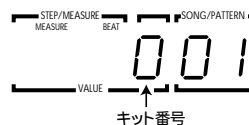
- 操作 1** [KIT/TRACK SELECT]キーで演奏したいトラックを選択し、そのキーを押し続けてください。

[KIT/TRACK SELECT]キーを押している間、[VALUE]インジケータに現在選択されているキット / プログラム番号が表示されます。



選択可能なドラムキットの種類は、パネル上の印刷で確認できます。

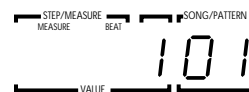
[DRUM A]



キット番号

- 操作 2** [KIT/TRACK SELECT]キーを押しながら、[VALUE UP/DOWN]キーでキットを選んでください。

[VALUE UP/DOWN]キーは、現在選ばれている要素の設定値を1段階ずつ変更するキーです。[VALUE UP/DOWN]キーを押すごとに、[VALUE]インジケータに表示されるキット番号が1つつつ上下し、キットが切り替わります。



- [VALUE UP/DOWN]キーのいずれか1つを押し続ければ、値を連続的に変化させることができます。
- [KIT/TRACK SELECT]キーを押したまま、[SOUND JAMMER]スライダーを操作することでキットを選択することも可能です。このように[SOUND JAMMER]スライダーは、設定値を連続的に変化させたいときにも使用します。

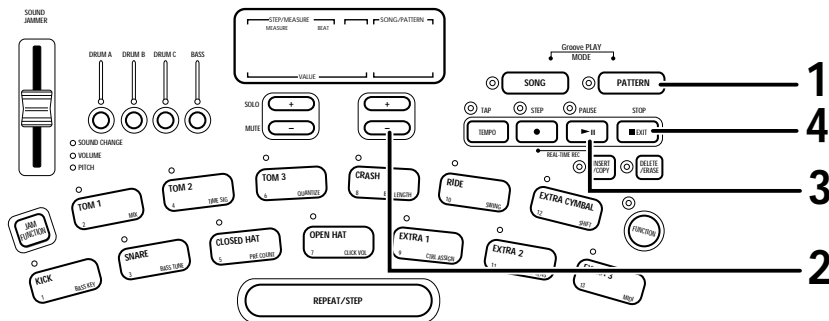
- 操作 3** パッドを叩いて新しいキットの音色を鳴らしてみましょう。

パターンを演奏してみよう(パターンモード)

ここでは、RhythmTrak...234のプリセットパターンや録音済みのユーザーパターンを再生する方法を説明します。

パターンを再生する

RhythmTrak...234には、“プリセットパターン”と呼ばれる読み出し専用のパターンが99種類(P01~P99)と、読み書き可能な“ユーザーパターン”が99種類(01~99)用意されています(工場出荷時には、ユーザーパターンにもプリセットパターンと同じ内容が書き込まれています)。



操作 1 [PATTERN]キーを押して[PATTERN]キーのLEDを点灯させてください。

RhythmTrak...234がパターンモードとなり、[SONG/PATTERN]インジケータに現在選ばれているパターンの番号が表示されます。01~99がユーザーパターン、P01~P99がプリセットパターンです。また、[VALUE]インジケータにはパターンの現在位置(小節/拍)が表示されます。空のユーザーパターンを選んだ場合、[VALUE]インジケータに“----”と表示されます。



操作 2 [UP/DOWN]キーで再生したいパターン番号を選んでください。

パターンモードでは、[UP/DOWN]キーを使ってパターンを選択します。[PATTERN]キーを押しながら[SOUND JAMMER]スライダーを動かすことで、パターンを選択することも可能です。



操作 3 [START]キーを押してください。

[START]キーのLEDが点灯してパターンが繰り返し再生され、[TEMPO]キーのLEDがテンポに合わせて点滅します。また、[VALUE]インジケータでパターンの現在位置(小節/拍)を確認できます。パターン再生中に[VALUE UP]キーを押すと、押し続けている間[KIT/TRACK SELECT]キーのLEDが点灯しているトラックだけのソロパターンを聴くことができます。またパターン再生中に[VALUE DOWN]キーを押すと、押し続けている間[KIT/TRACK SELECT]キーのLEDが点灯しているトラック以外のパターンを聴くことができます。



操作 4 パターンを停止したいときは、[STOP]キーを押してください。

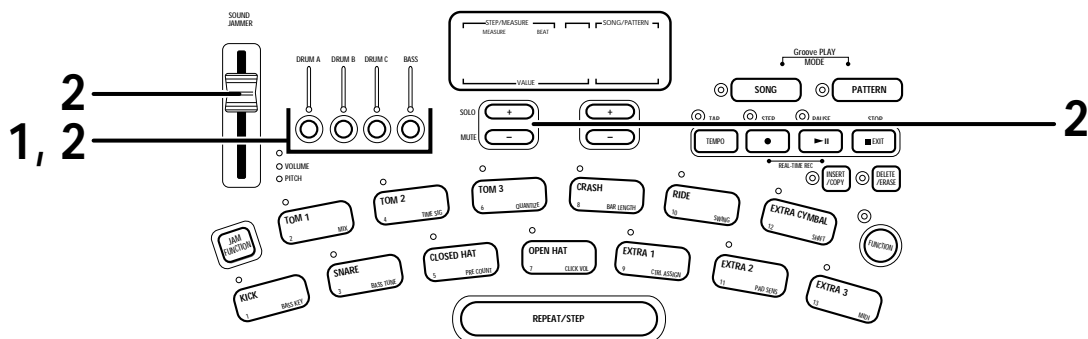
[STOP]キーの代わりに[START]キーを押すとポーズ(一時停止)状態となり、[START]キーのLEDが点滅します。この状態からもう一度[START]キーを押すと、止めた位置から再開します。



パターンの再生中にもパッドを使ったマニュアル演奏が行えます。ただし、[SOUND JAMMER]スライダーによるモディファイ効果は、パターンによって再生される音に対しては無効です。

トラックのキット / プログラムを変更する

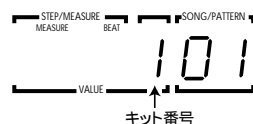
RhythmTrak...234のパターンは、ドラムトラックA～C、ベーストラックという4つのトラックから構成されています。ドラムトラックにはドラムキット、ベーストラックにはベースプログラムが1種類ずつ割り当てられています。ここでは、トラックごとのキットを変更してみましょう。



パターンを演奏してみよう(パターンモード)

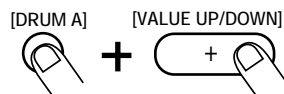
- 操作1** [KIT/TRACK SELECT]キーでドラムキット / ベースプログラムを変更したいトラックを選択し、そのキーを押し続けてください。

パターンモードで操作の対象となるトラックを選ぶには、[KIT/TRACK SELECT]キーを使用します。これらのキーのうちいずれか1つを押している間、該当するトラックに割り当てられているキット / プログラム番号が[VALUE]インジケータに表示されます。



- 操作2** [KIT/TRACK SELECT]キーを押したまま、[VALUE UP/DOWN]キーまたは[SOUND JAMMER]スライダーでキットを選んでください。

そのトラックの演奏が、すべて新しいキットの音色に切り替わります。



- 操作3** 操作1～2を繰り返して、各トラックに割り当てられているキット / プログラムを変更してみましょう。



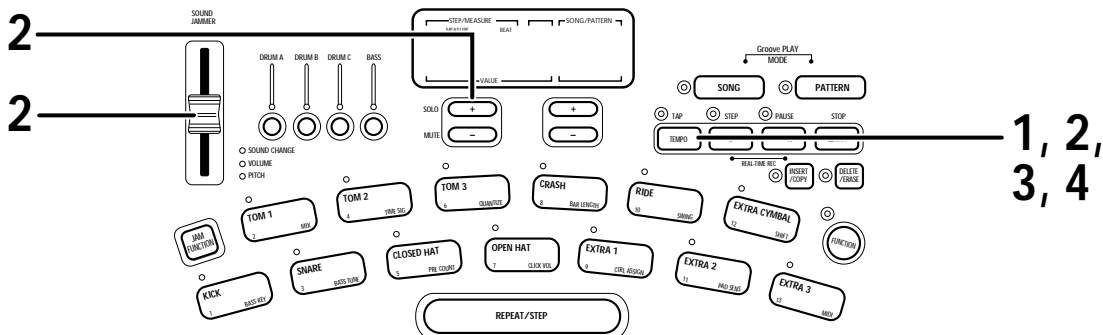
トラックごとのキットの変更は、パターンの再生中でも行えます。



- ユーザーパターンのキット / プログラムを変更すると、自動的に新しいキット / プログラムがそのパターンに保存されます。
- プリセットパターンのキット / プログラムは変更できません。

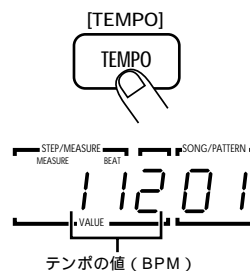
パターン演奏のテンポを変える

パターンモードでパターンを演奏するときのテンポは、40～250BPM(BPM=テンポを1分間に演奏される4分音符の数で表した値)の範囲で調節できます。



操作 1 [TEMPO]キーを押してください。

約2秒間[VALUE]インジケータに現在のテンポが表示されます。



操作 2 [TEMPO]キーを押したまま[VALUE UP/DOWN]キーまたは[SOUND JAMMER]スライダーを使ってテンポを調節してください。



操作 3 テンポ設定ができれば、[TEMPO]キーから手を離してください。

約2秒間[VALUE]インジケータに現在のテンポが表示されます。

操作 4 マニュアル操作でテンポを指定したいときは、[TEMPO]キーを好きなテンポで2回叩いてください(タップテンポ機能)。

パターンの停止中または再生中に[TEMPO]キーを続けて2回叩けば、その間隔を4分音符としたテンポが設定されます。ある曲に合わせたパターンを作りたいときには、その曲に合わせて[TEMPO]キーを叩くだけで、簡単にテンポが設定できます。



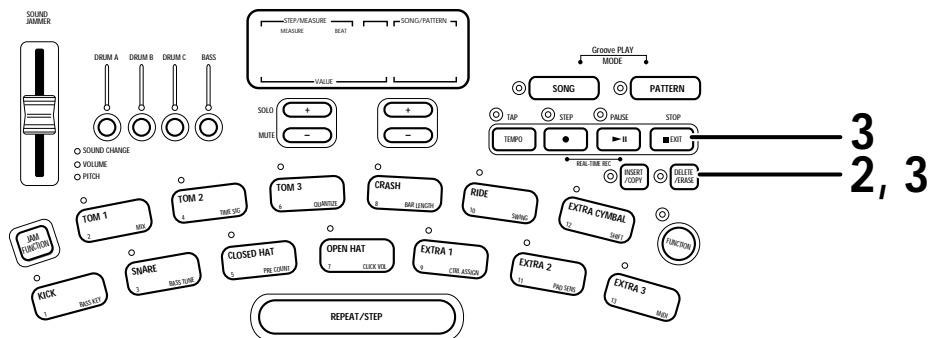
パターンモードで設定したテンポは、すべてのパターンに共通です。パターンごとに変えることはできません。

パターンを録音してみよう(リアルタイム録音)

RhythmTrak...234には、自分自身のパターンを録音できるユーザーパターンが99種類用意されています。パターンを作る方法は、実際にパッドを叩いて演奏して録音する“リアルタイム録音”と、演奏を止めた状態で1音1音を入力していく“ステップ録音”の2つがあります。ここでは、ドラムトラックとベーストラックのリアルタイム録音を説明します。

不要なパターンを消去する

RhythmTrak...234の工場出荷時には、ユーザーパターンにプリセットパターンと同内容が書き込まれています。このため、新規のパターンを録音するには、不要なユーザーパターンを消去する必要があります。



パターンを録音してみよう(リアルタイム録音)

- 操作 1** パターンモードで消去したいユーザーパターン(01~99)を選んでください。[SONG/PATTERN]インジケーターにパターンの番号が表示されます。

パターンの内容を消去しても、以前のパターンで使用していたドラムキットやベースプログラムの種類などはパターンを変更するまで記憶されています。そこで、新規パターンを録音するときは、イメージに近い音色を含むパターンを消去して使うといいでしょう。



NOTE プリセットパターン(P01~P99)は消去できません。

- 操作 2** [DELETE/ERASE]キーを押してください。

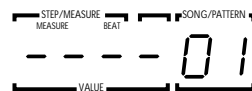
[DELETE/ERASE]キーのLEDとパターン番号が点滅し、[VALUE]インジケーターに“dEL?”と表示されます。



- 操作 3** 消去を実行する場合は[DELETE/ERASE]キーを、取り消すなら[STOP]キーを押してください。

消去を実行すると、空のユーザーパターンが選ばれた状態でパターンモードに戻ります。このとき、[VALUE]インジケーターには“----”と表示されます。

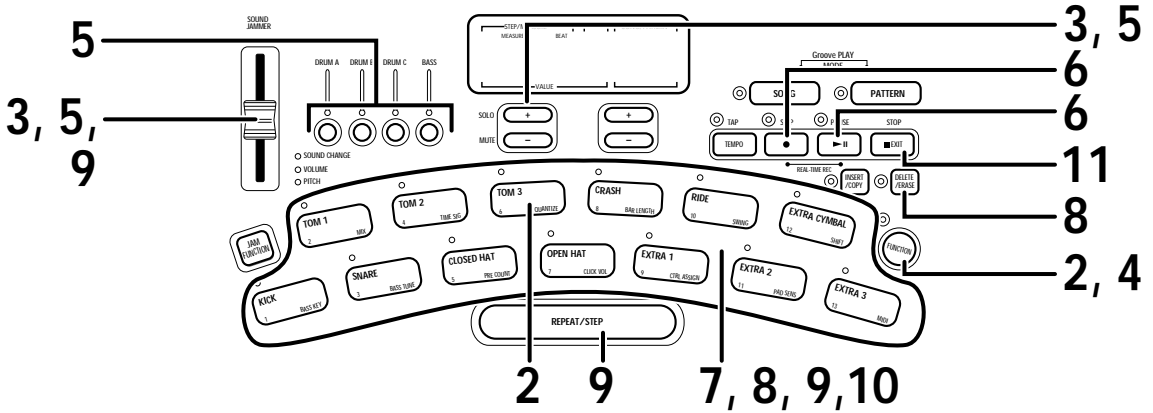
消去を取り消せば元のユーザーパターンが選ばれた状態でパターンモードに戻ります。



NOTE 自分自身で作ったユーザーパターンを一度消してしまうと、復帰させることはできません。操作2の前に十分確認してから消去してください。また、すべてのユーザーパターンを工場出荷時の状態に戻したいときは、52ページをご参照ください。

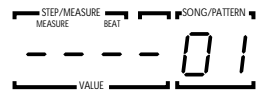
ドラムトラックのリアルタイム録音

“リアルタイム録音”とは、メトロノーム音を聞きながらパッドを叩いた演奏をそのまま録音していく方法です。まずドラムトラックにリアルタイム録音してみましょう。



操作 1 パターンモードで空のユーザーパターン(01 ~ 99)を選んでください。

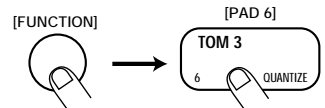
何も録音されていないパターンが選ばれると、[VALUE]インジケータに“----”と表示されます。



プリセットパターンには録音できません。

操作 2 [FUNCTION]キー パッド6 (QUANTIZE) の順に押してください。

VALUEインジケータに、現在のクオンタイズの設定値が表示されます。“クオンタイズ”とは、どれだけ細かい音符で録音するかを決める要素です。クオンタイズを録音したいパターンの最小単位となる音符に合わせておけば、自動的に正確なタイミングで録音することができます。また、クオンタイズをオフの状態にして人間的なノリを残して録音することも可能です。



クオンタイズの設定値



[FUNCTION]キーはRhythmTrak...234の各種設定を行うためのキーです。詳しい説明は、41ページをご参照ください。

操作 3 [VALUE UP/DOWN]キーまたは[SOUND JAMMER]スライダーを使ってクオンタイズの値(録音する最小単位の音符)を次の中から選んでください。

44分音符	1616分音符	4832分3連音符
88分音符	2416分3連音符	Hi ...クオンタイズなし
128分3連音符	3232分音符	

操作 4 もう一度[FUNCTION]キーを押してください。

新規のクオンタイズの値が確定し、パターンモードに戻ります。



録音が終わった後でクオンタイズの値を変更し、同じトラックに再度録音することも可能です。例えばバスドラムとスネアドラムを4分音符単位で録音した後で、ハイハットを16分音符単位で録音することができます。

パターンを録音してみよう(リアルタイム録音)

操作 5

[KIT/TRACK SELECT]キーの中から録音したいトラックのキーを押したまま、[VALUE UP/DOWN]キーまたは[SOUND JAMMER]スライダーを使って、選択したトラックで使用するキットを選んでください。

パターンの録音時には、[KIT/TRACK SELECT]キーを使って録音するトラックを選びます。ここでは[DRUM A]キーを選んでみましょう。[DRUM A]キーを押している間、[VALUE]インジケーターに現在選ばれているキット番号が表示されます。

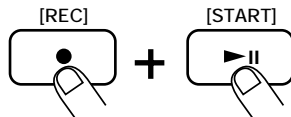


ユーザーパターンの場合、そのパターンで使用しているキット/プログラムが各トラックに保存されます。また、キット/プログラムを変更した場合は、最後に選ばれたキット/プログラムが保存されます。

操作 6

[REC]キーを押しながら[START]キーを押してください。

[REC]キーと[START]キーのLEDが点灯、同時に[TEMP]キーのLEDが点滅し、メトロノーム音が鳴り始めます。



特に指定しない限り、何も録音されていない空のパターンの拍子は4/4、長さは2小節となります。パターンの拍子や小節数を変更することも可能です(44~45ページをご参照ください)。

操作 7

メトロノームに合わせてパッドを叩いてください。

叩いたパッドの音色が鳴り、クオンタイズの値に従って演奏が録音されます。このとき、パターンの現在位置は[VALUE]インジケーターで確認できます。パターンの最後まで到達すると先頭に戻って録音を続けますので、何度でも追加録音が行えます。

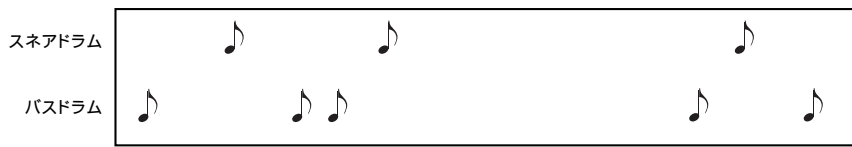
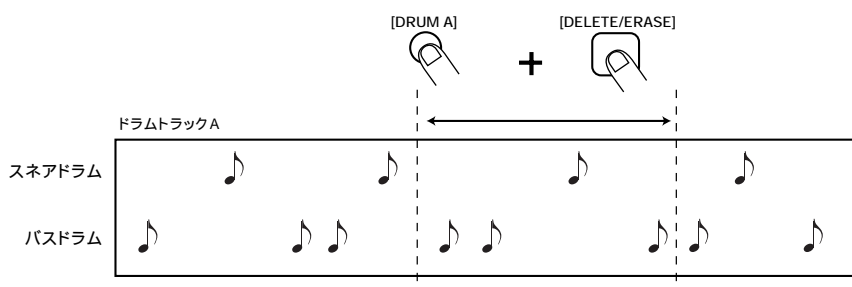
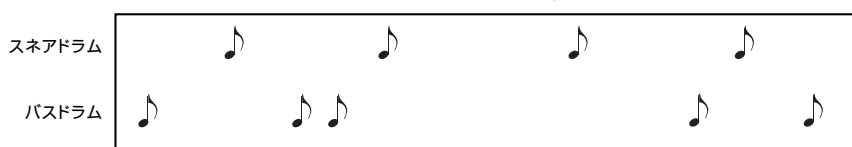
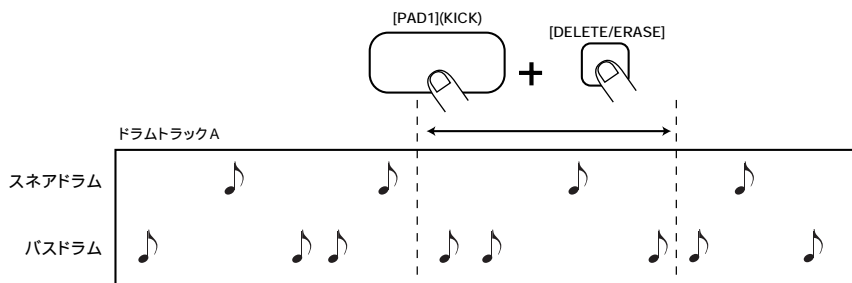


リアルタイム録音中に[REC]キーを押すと、[REC]キーのLEDが点滅に変わり、パターンの録音が一時的に解除されます。この状態でパッドを叩いても音は鳴りますが何も録音されませんので、フレーズや音色の確認に便利です。録音状態に戻すには、もう一度[REC]キーを押します。

パターンを録音してみよう(リアルタイム録音)

操作 8 特定のパッドの演奏を消したい場合は、[DELETE/ERASE]キーを押しながらそのパッドを押さえてください。

[DELETE/ERASE]キーとパッドを押さえている間のみ、そのパッドの音がパターンから消去されます。また、トラック全体の演奏を消したい場合は、[DELETE/ERASE]キーを押しながら、該当する[KIT/TRACK SELECT]キーを押さえてください。両方のキーを押さえている間のみ、そのトラックのすべての音色が消去されます。



操作 9 [REPEAT/STEP]キーや[SOUND JAMMER]スライダーを操作しながらパッドを叩いてみましょう。

録音中に[REPEAT/STEP]キーを押しながらパッドを叩けば、連打音を録音できます。また、録音中に[SOUND JAMMER]スライダーを動かしながらパッドを叩けば、ピッチ、音量、音色を変更した状態で録音することも可能です(13ページをご参照ください)。ただし、この場合はパッドを叩いた瞬間の[SOUND JAMMER]スライダーの設定値が記録されるだけで、パッドを叩いていないときに[SOUND JAMMER]スライダーを動かしても、その変化は記録されません。

パターンを録音してみよう(リアルタイム録音)

操作 10 同じ要領でドラムトラックBやドラムトラックCを選び、録音してみましょう。

操作 11 録音が終了したら[STOP]キーを押してください。

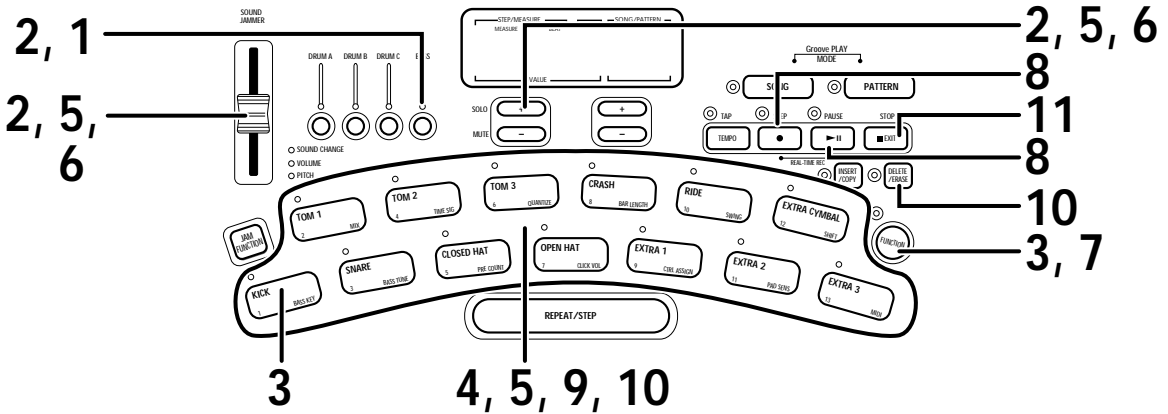
RhythmTrak...234が停止します。



- ・ MIDIクロックの受信がオンになっているときは、リアルタイム録音できません。詳しくは47ページをご参照ください。
- ・ 外部MIDI機器から録音することはできません。

ベーストラックのリアルタイム録音

「ドラムトラックのリアルタイム録音」でドラムを録音したパターンにベースを重ねてみましょう。



操作 1 [KIT/TRACK SELECT]キーの中から[BASS]キーを押し、そのまま押し続けてください。

録音するトラックとして、ベーストラックが選択されます。



操作 2 [BASS]キーを押したまま、[VALUE UP/DOWN]キーまたは[SOUND JAMMER]スライダーで使用するベースプログラムを選んでください。また、必要に応じてクオンタイズの値やテンポを変更してください。

HINT ベースプログラムは録音中にも変更できます。

操作 3 [FUNCTION]キー パッド1(BASS KEY)の順に押し続けてください。

ベーストラックに録音するときは、最初にそのベースパターンで使用する音高を各パッドに割り当てておきます。[FUNCTION]キー パッド1(BASS KEY)を順に押すことで、各パッドに割り当てられたベースの音高を設定可能となります。このとき、[FUNCTION]キーのLEDが点灯し、[VALUE]インジケータにはパッド1に割り当てられた音名が表示されます。



- HINT** パターンを消去した場合でも、以前のパターンで各パッドに割り当てられていた音高は記憶されています。この割り当てをそのまま利用する場合は、操作3～5は不要です。
- 工場出荷時のユーザーパターンは、すべてパッド1にE2(4弦ベースの最低音に相当する音名)が割り当てられています。

操作 4 パッド2～13のうち、音高を変えたいパッドを押してください。

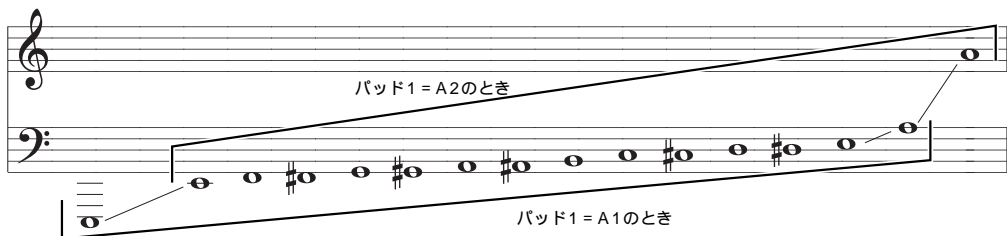
パッドを押さえている間、そのパッドに割り当てられた音名(E1～A4)がVALUEインジケータに表示されます。



現在押されているパッドに割り当てられた音名



パッド2～13から手を離すと、再度パッド1に割り当てられた音名が表示されます。この音名は、パッド全体のピッチを半音単位で上下(移調)させるときの基準音となりますので、誤ってこの音名まで変更しないようにご注意ください。



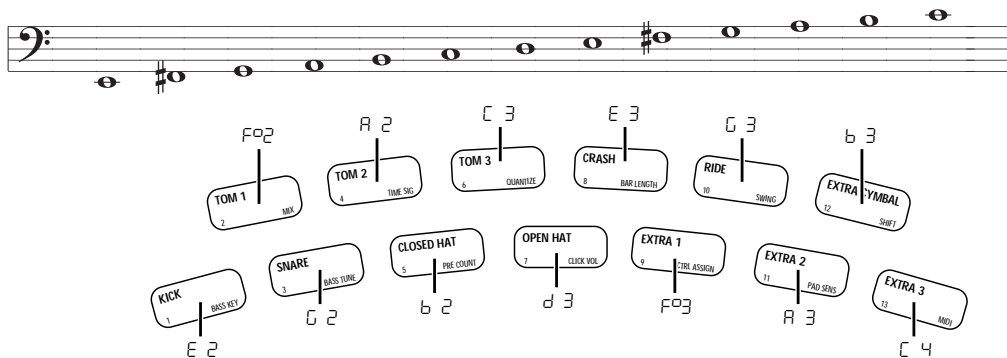
E 1 ··· E 2 F 2 F#2 G 2 G#2 A 2 A#2 b 2 C 3 C#3 d 3 d#3 E 3 ··· A 3 ··· A 4
E1 ··· E2 F2 F#2 G2 G#2 A2 A#2 B2 C3 C#3 D3 D#3 E3 ··· A3 ··· A4

操作 5 パッドを押したまま、[VALUE UP/DOWN]キーまたは[SOUND JAMMER]スライダーで、そのパッドに割り当てられた音名を変更してください。

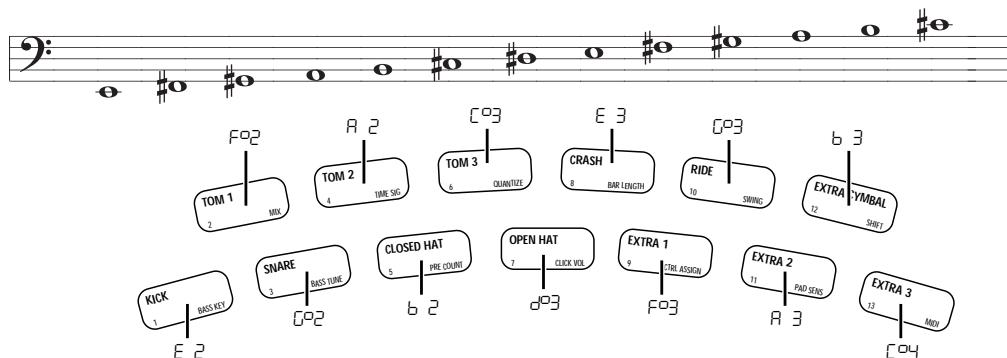
次の図は、各パッドにE minor(イーマイナー)のスケールとE Major(イーメジャー)のスケールを割り当てた場合の例です。音名の割り当て方法は他にもさまざまな例が考えられます。録音したいベースパターンに応じて割り当て方法を工夫してみましょう。



E minorのスケールを割り当てた例



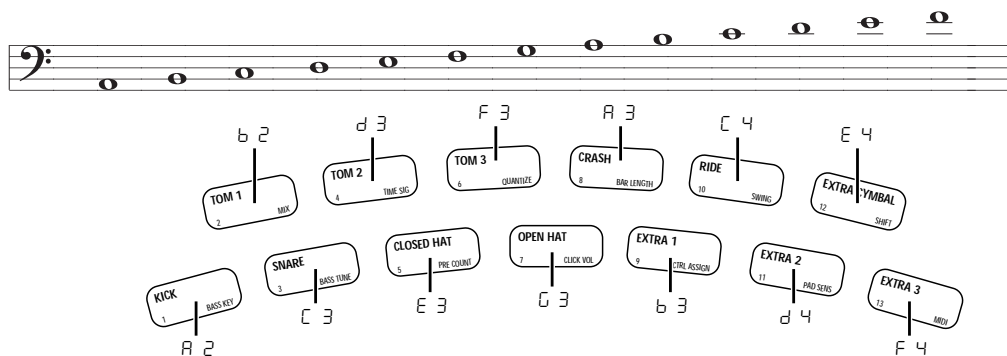
E Majorのスケールを割り当てた例



操作 6 パッド全体の音高を移調したいときは、パッドを離した状態で[VALUE UP/DOWN]キーまたは[SOUND JAMMER]スライダーを操作してください。

パッド1に割り当てられた音高を変更すると、それに伴ってパッド2～13の音高も上下します。例えば前ページのようにE minorのスケールを割り当てた後で、パッド1の音高を“E 2”から“A 2”に変更すると、各パッドにA minor(エーマイナー)のスケールが割り当てられます。

A minorのスケールを割り当てた例



操作 7 音高の割り当てが終わったら、[FUNCTION]キーをもう一度押してください。

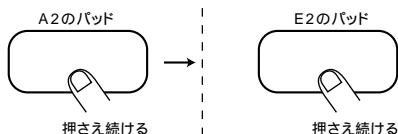
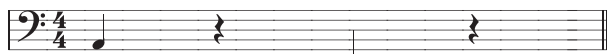
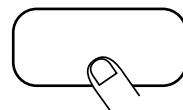
[FUNCTION]キーのLEDが消灯します。

操作 8 [REC]キーを押したまま[START]キーを押してください。

[REC]キーと[START]キーのLEDが点灯、同時に[TEMP]キーのLEDが点滅し、すでに録音されたドラムトラックが繰り返し再生されます。

操作 9 メトロノーム音に合わせて、録音したいフレーズの音高に相当するパッドを押してください。

ドラムトラックとは異なり、ベーストラックにはパッドを押さえている長さも録音されます。例えば次の譜例を録音するには、A2の音高が割り当てられたパッドと、E2の音高が割り当てられたパッドをそれぞれ4分音符の長さだけ押さえ続けます。

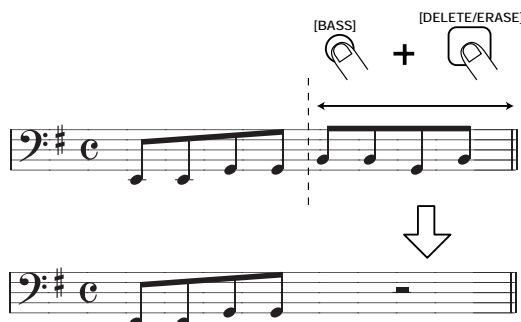
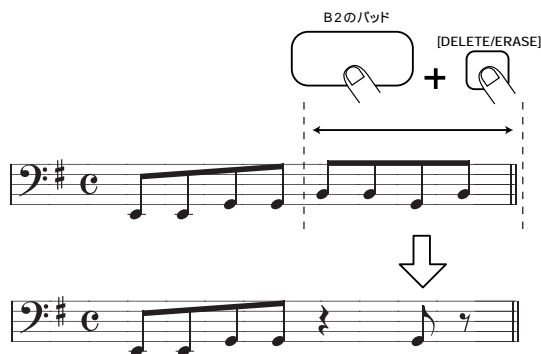
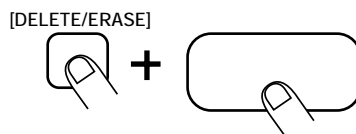


リアルタイム録音状態で[REC]キーを押すと、LEDが点滅に変わり、パターンの録音が一時的に解除されます。パッドを叩いても音は鳴りますが何も録音されませんので、フレーズや音色の確認ができます。

パターンを録音してみよう(リアルタイム録音)

操作 10 特定の音のみ演奏を消したい場合は、[DELETE/ERASE]キーを押しながらその音高に相当するパッドを押さえてください。

[DELETE/ERASE]キーとパッドを押さえている間のみ、そのパッドの音高に相当する音がパターンから消去されます。また、ベーストラック全体の演奏を消したい場合は、[DELETE/ERASE]キーを押しながら[KIT/TRACK SELECT]キーの[BASS]キーを押さえてください。押さえている間のみ、ベーストラックの演奏が消去されます。



操作 11 録音が終了したら[STOP]キーを押してください。

パターンを録音してみよう(リアルタイム録音)

パターンのステップ録音

ここでは、RhythmTrak...234のもう1つの録音方法として、ステップ録音の方法を説明します。

ステップ録音とは

ステップ録音とは、RhythmTrak...234を停止させた状態で1音1音を入力していく録音方法です。パッドを叩くのが苦手という方でも、ステップ録音を使えば複雑なドラムパターンやベースパターンが簡単に入力できます。また、人間ではとても演奏できないようなパターンの作成も可能です。

ドラムトラックのステップ録音では、最小単位となる音符を選び、1ステップごとにパッド(音符) または [REPEAT/STEP]キー(休符)を押すことで、パターンを作っていきます。

例えば次のようなパターンのバスドラムをステップ録音する場合は、最小単位として8分音符を選び、

[KICK] [STEP] [STEP] [KICK] [KICK] [STEP] [STEP] [STEP]

という順番で入力します。

バスドラム

パターンの最後まで進んだら自動的に先頭に戻りますので、同じようにスネア、ハイハットと個別に入力していき、1つのパターンを完成させます。また、同時に2つのパッドを叩くことで2つの音色を同じ位置に入力することも可能です。

ベーストラックのステップ録音ではドラムトラックにはなかった“音高”と“音の長さ”という要素が加わっているため、若干操作が異なります。パッドを押したときに最小単位の音符、[REPEAT/STEP]キーを押したときに最小単位の休符が入力されるのはドラムトラックと同じですが、どのパッドを押すかでベース音の音高が決まります。

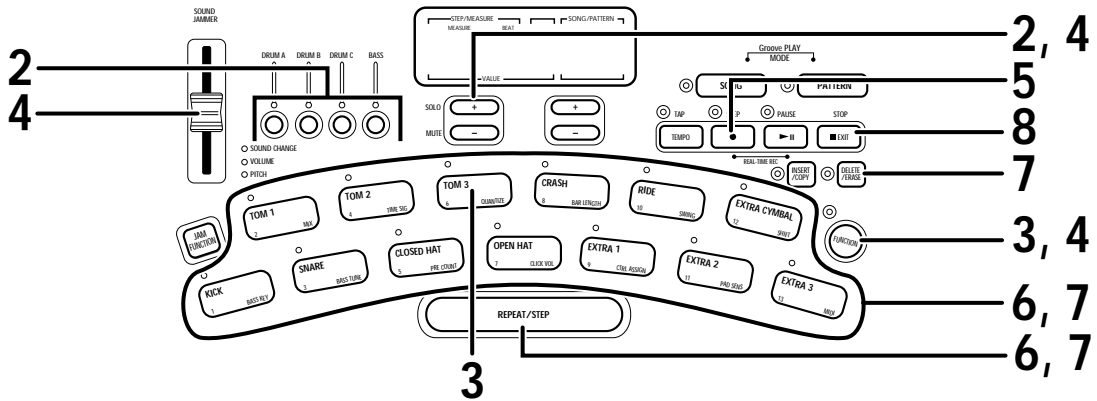
また、最小単位の音符よりも長い音符を入力するには、そのパッドを押さえた状態で[REPEAT/STEP]キーを繰り返し押します。[REPEAT/STEP]キーを1回押すごとに、最小単位の音符分だけ入力される音符が長くなります。

例えば次の譜例のようなベースのフレーズを入力するときは、最小単位として8分音符を選び、次の図のように入力します。

[A2] 押さえ続ける [A2] [E2] 押さえ続ける [STEP] [STEP] [STEP] [STEP] [STEP]

ドラムトラックのステップ録音

ここでは、ドラムトラック A / B / C にステップ録音する方法を説明します。



操作 1 パターンモードで空のユーザーパターンを選んでください。

HINT すでに録音されているパターンを空のパターンにする場合は、パターンを消去する必要があります。18ページをご参照ください。

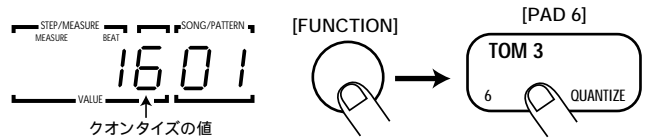
操作 2 [KIT/TRACK SELECT]キーと[VALUE UP/DOWN]キーで録音するトラックとキットを選んでください。

トラックやキットの選択方法は、リアルタイム録音と同じです。ここでは [KIT/TRACK SELECT]キーの中から[DRUM A]キーを押してください。

HINT ドラムトラック B / C を選べば、同じ要領で録音できます。

操作 3 [FUNCTION]キー パッド 6 (QUANTIZE) の順に押してください。

VALUE インジケーターに、現在のクオンタイズの設定値が表示されます。ステップ入力時の最小単位となる音符は、この値で決定されます。



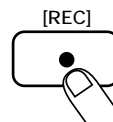
操作 4 [VALUE UP/DOWN]キーまたは[SOUND JAMMER]スライダーを使ってステップ録音の最小単位となる音符を次の中から選び、もう一度[FUNCTION]キーを押してください。

- | | | |
|-----------------|------------------|------------------|
| 4 4分音符 | 16 16分音符 | 48 32分3連音符 |
| 8 8分音符 | 24 16分3連音符 | Hi 1チック |
| 12 8分3連音符 | 32 32分音符 | (4分音符の1 / 96) |

HINT [FUNCTION]キーの詳細説明は、41ページをご参照ください。

操作 5 [REC]キーを押してください。

[REC]キーと[START]キーのLEDが点灯し、録音待機状態となったことを示します。



操作 6 音符を入力したいときはその音色に相当するパッド、休符を入力したいときは [REPEAT/STEP]キーを押してください。

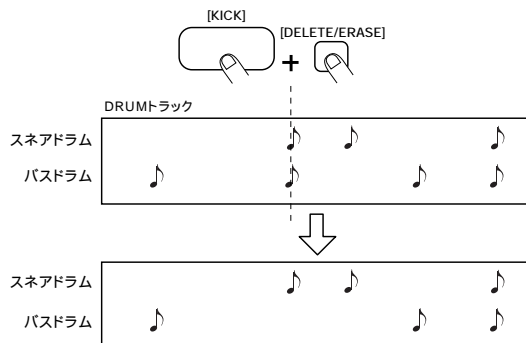
例えば[KICK]パッドを叩くと、バスドラムの音符が入力され([KICK]パッドのLEDが一瞬点灯します)、パターンの現在位置が最小単位の音符分だけ進みます。もちろん叩いた強さも記録されます。パターンの最後まで進んだら、自動的に先頭に戻りますので、引き続き別の音色を入力できます。



- ・パターンの現在位置は、[VALUE]インジケーターで確認できます(小節/拍単位)。
- ・[SOUND JAMMER]スライダーを動かしてからパッドを叩けば、ピッチ、音量、音色を変更して録音することもできます。

操作 7 録音した音を消したい場合は、[REPEAT/STEP]キーでその位置まで進めて、[DELETE/ERASE]キーを押しながら該当するパッドを押してください。

[REPEAT/STEP]キーで位置を進めていくと、現在位置に入力されている音に対応するパッドのLEDが点灯します。[DELETE/ERASE]キーを押しながらパッドを押すと、LEDが消灯し、その位置にあった音は消去されます。



ステップ録音では、トラック全体の演奏を消去することはできません。

操作 8 録音が終了したら[STOP]キーを押してください。

[REC]キーのLEDが消灯し、ステップ録音を終了します。

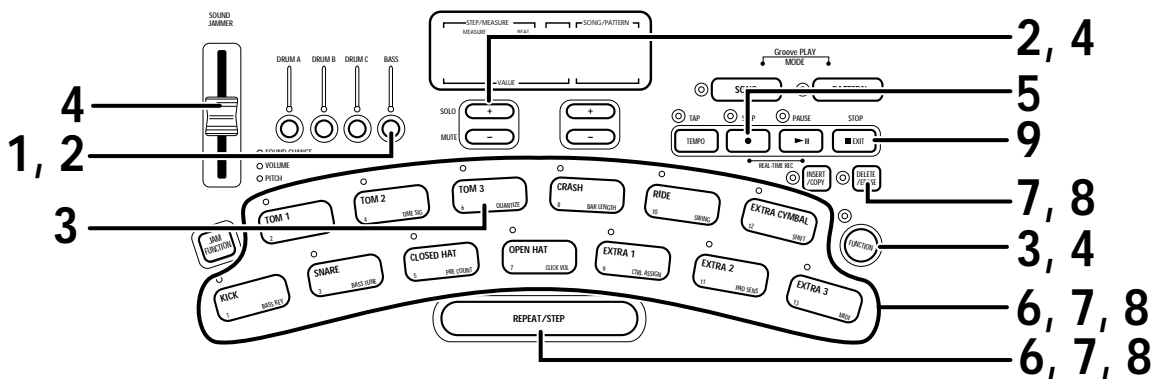
操作 9 ドラムトラック B / Cにも録音したい場合は、操作 3 ~ 8 を繰り返してください。



操作 4 で[FUNCTION]キーを押さずに操作 5 を行った場合、そのトラックにすでに録音されたパターンのクオンタイズ値も変わってしまいますので、ご注意ください。例えば 16 分音符単位でステップ録音した後でクオンタイズの値を 4 分音符単位に変更し、[FUNCTION]キーを押さずに[REC]キーを押した場合、すでにそのトラックに録音されたパターンは 4 分音符単位にそってしまいます。

ベーストラックのステップ録音

「ドラムトラックのステップ録音」でドラムを録音したパターンに、ベーストラックをステップ録音で加えてみましょう。ベーストラックには「音高」と「音の長さ」という要素があるため、ドラムトラックとは若干操作が異なります。



操作 1 [KIT/TRACK SELECT]キーの中から[BASS]キーを押してください。

ベーストラックが選択されます。

操作 2 [BASS]キーと[VALUE UP/DOWN]キーを使って使用するキットを選んでください。

操作 3 [FUNCTION]キー パッド6 (QUANTIZE)の順に押してください。

操作 4 [VALUE UP/DOWN]キーまたは[SOUND JAMMER]スライダーを使ってクオンタイズの値(録音される最小単位の音符)を選択し、もう一度[FUNCTION]キーを押してください。

クオンタイズの値については、28ページをご参照ください。

操作 5 [REC]キーを押してください。

[REC]キーと[START]キーのLEDが点灯し、ステップ録音の待機状態になったことを示します。

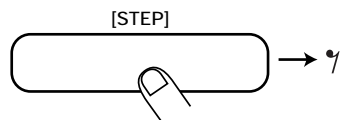
NOTE 操作4で[FUNCTION]キーを押さずに操作5を行った場合、ベーストラックにすでに録音された音符のクオンタイズ値も変わってしまいますので、ご注意ください。例えば16分音符単位でステップ録音した後でクオンタイズの値を4分音符単位に変更し、[FUNCTION]キーを押さずに[REC]キーを押した場合、すでにベーストラックに録音された音符は4分音符単位にそってしまいます。

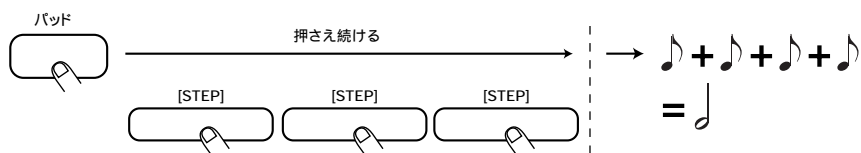
操作 6 ベース音の音高や長さ、さらに音符か休符かに応じて、パッド、[REPEAT/STEP]キー、あるいはその両方を押してください。

ベーストラックのステップ録音方法は、つぎの3種類があります。

最小単位の音符を入力する場合.....パッドを押して離してください。そのパッドに相当する音高で最小単位の音符が入力され、次のステップに進みます。

最小単位の休符を入力する場合.....[REPEAT/STEP]キーを押して離してください。最小単位の休符が入力され、次のステップに進みます。[REPEAT/STEP]キーを繰り返し押すことで長い休符も入力できます。最小単位の音符より長い音符を入力する場合.....パッドを押しながら[REPEAT/STEP]キーを繰り返し押してください。[REPEAT/STEP]キーを1回押すごとに、直前の音が最小単位の音符分だけ延長されます。





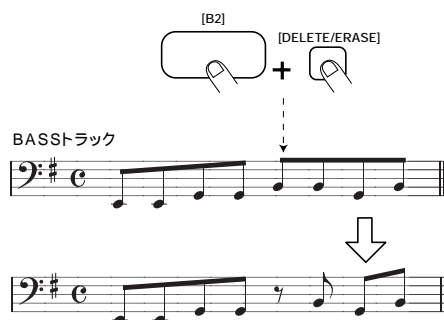
パッドを押すとLEDが点灯し、その音符が入力されたことを示します。また、パターン内の現在位置は[VALUE]インジケータ(小節/拍単位)で確認できます。



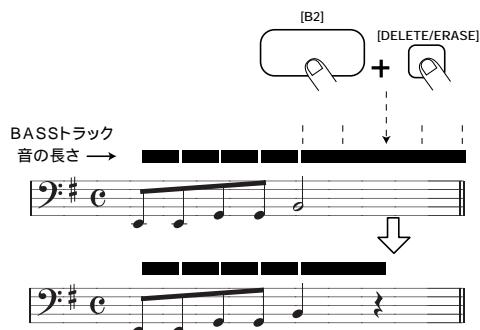
パターン全体の長さよりも長い音符は入力できません。パターンの長さを越えて入力しても、パターンの終わり部分までの長さとなります。

操作 7 特定の音符を消したい場合は、[REPEAT/STEP]キーでその音符が鳴り始める位置まで進めて、[DELETE/ERASE]キーを押しながらそのパッドを押してください。

[REPEAT/STEP]キーで位置を進めていくと、その位置に入力されている音符に相当するパッドのLEDが点灯します。[DELETE/ERASE]キーを押しながらパッドを押せばLEDが消灯し、その位置にあった音符は消去されます。



操作 8 録音した音符の長さを短くしたい場合は、[REPEAT/STEP]キーで音符を終了させたい位置までステップを進めて、[DELETE/ERASE]キーを押しながらそのパッドを押してください。



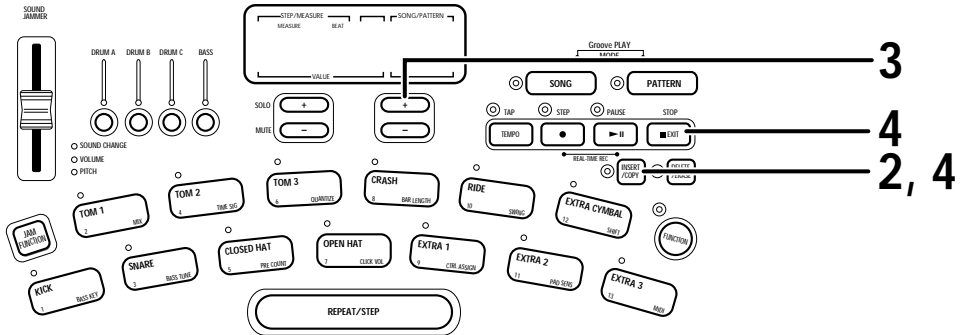
ステップ録音では、トラック全体の演奏を消去することはできません。

操作 9 録音が終了したら[STOP]キーを押してください。

[REC]キーのLEDが消灯し、ステップ録音を終了します。

パターンのコピー

既存のパターン(プリセットパターンとユーザーパターン)をユーザーパターンにコピーすることができます。プリセットパターンの一部を変更したり他のパーカッションを加えたい場合や、ドラムトラックの演奏はそのままでベーストラックのみフレーズを変えたいときに便利な機能です。なお、プリセットパターンは読み出し専用なので、コピー先はユーザーパターンに限られます。



操作 1 パターンモードで、コピー元となるパターンを選んでください。

操作 2 [INSERT/COPY]キーを押してください。

[INSERT/COPY]キーのLEDが点滅し、現在のパターンがコピー元として選ばれます。



操作 3 [UP/DOWN]キーでコピー先のユーザーパターン(01 ~ 99)を選んでください。



コピーを実行すると、コピー先のユーザーパターンにそれまで入っていたパターンは消えてしまいます。操作2の前に消してもいいパターンかどうかを必ず確認してください。



操作 4 コピーを実行する場合は[INSERT/COPY]キーを、取り消す場合は[STOP]キーを押してください。

コピーを実行すると、コピー先のパターンが選ばれた状態でパターンモードに戻ります。

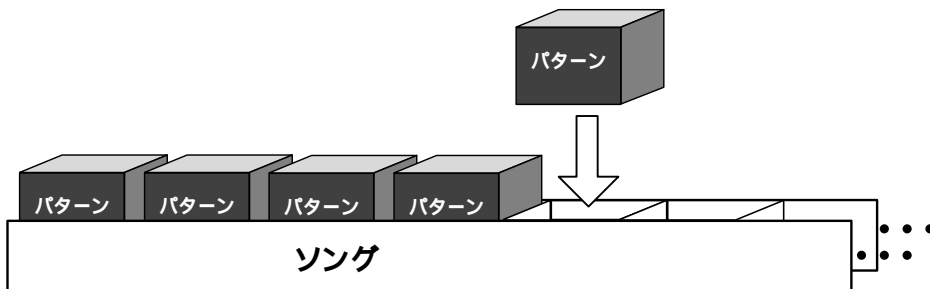
コピーを取り消した場合はコピー元のパターンが選ばれた状態でパターンモードに戻ります。

ソングを作ろう (ソングモード)

ここでは、ユーザーパターンを演奏順に並べて1曲分のバックিং演奏(ソング)を作るソングモードについて説明します。

ソングとは?

ソングとは、ユーザーパターンを演奏順に並べたものです(プリセットパターンは使えません)。ソングの中にパターンを並べるための箱(これを“ステップ”と呼びます)があり、その1つ1つのステップにパターンを入れていくと考えるとわかりやすいでしょう。1曲のソングでは最大255ステップが利用でき、RhythmTrak...234本体に最大99曲のソングを作ることができます(実際のステップ数や曲数は、ユーザーパターンや他のソングで使用している音数により変化します)。またソングモードでは、曲の途中でテンポや音量を変えることも可能です。



ステップ数 = 小節数ではないことにご注意ください。1つ1つのステップの長さは、中に入れるパターンに応じて変わります。

ソングの各ステップには、パターン番号以外に以下の設定を書き込むことができます。

テンポチェンジ.....ソングモードでは各ソングごとにそれぞれテンポが記憶されます(テンポの設定は[TEMPO]キーを使って設定します。17ページをご参照ください)。さらに現在のソングで設定されているテンポを基準として、各ステップのテンポを - 30 ~ 0(変更なし) ~ 30 BPMの範囲で変更できます(BPM = テンポを表す単位。1分間に演奏される4分音符の数を表します)。

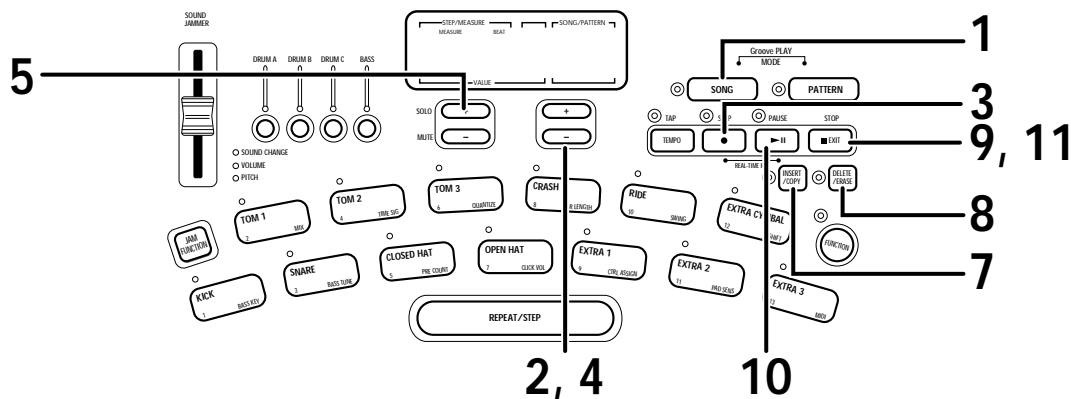
音量設定.....ステップで再生されるパターンの音量を、0(変更なし) ~ - 30の範囲で変更できます。

トランスポーズ.....ベーストラックのトランスポーズ(移調)を、半音単位で - 6 ~ 0(変更なし) ~ 6の範囲で設定できます。

ステップ0	ステップ1	ステップ2 ステップ254
<ul style="list-style-type: none">• パターンナンバー• テンポ情報• 音量情報• トランスポーズ情報	<ul style="list-style-type: none">• パターンナンバー• テンポ情報• 音量情報• トランスポーズ情報	<ul style="list-style-type: none">• パターンナンバー• テンポ情報• 音量情報• トランスポーズ情報	

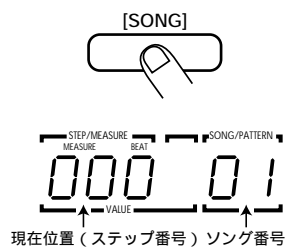
ソングの記録と再生

ソングにパターンを並べて1曲分の演奏を作ってみましょう。



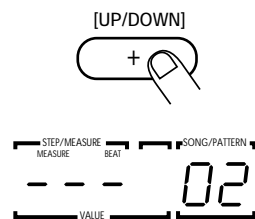
操作1 [SONG]キーを押してください。

RhythmTrak...234がソングモードになります。[SONG/PATTERN]インジケータには現在選択されているソング番号、[VALUE]インジケータにはソングの現在位置(ステップ番号)が表示されます。



操作2 [UP/DOWN]キーを使って空のソング番号を選んでください。

ソングモードでは、[UP/DOWN]キーを使ってソングを選択します。また、[SONG]キーを押しながら[SOUND JAMMER]スライダーを操作することで、ソング番号を選択することも可能です。空のソングが選ばれた場合、[VALUE]インジケータには“----”と表示されます。



操作3 [REC]キーを押してください。

[REC]キーのLEDが点灯します。これはRhythmTrak...234がソングの記録可能な状態となったことを示しています。

[VALUE]インジケータにはステップ番号、[SONG/PATTERN]インジケータにはそのステップで選択されているパターン番号が表示されます。



ソングを作ろう(ソングモード)

操作 4 [UP/DOWN]キーで最初のステップに割り当てるユーザーパターン番号を選んでください。

ソングの記録中には、[UP/DOWN]キーでそのステップに割り当てるパターンを選びます(プリセットパターンは選択できません)。選択したパターン番号が[SONG/PATTERN]インジケータに表示されます。



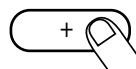
現在選択されているパターンを再生して聞いてみたい場合は、[START]キーと[STOP]キーで、パターンの再生/停止が行えます。パターンの再生中にステップを切り替え、前後のパターンを確認することも可能です。



操作 5 次のステップに移動するには、[VALUE UP/DOWN]キーの[+]キーを押してください。

[VALUE]インジケータが2つ目のステップに進み、[SONG/PATTERN]インジケータにソングの終わりを表す“EE”の記号が表示されます。この状態で、2つ目のステップのパターンが選択できます。

[VALUE UP/DOWN]



操作 6 1曲分のソングを作るまで、操作4～5を繰り返してください。

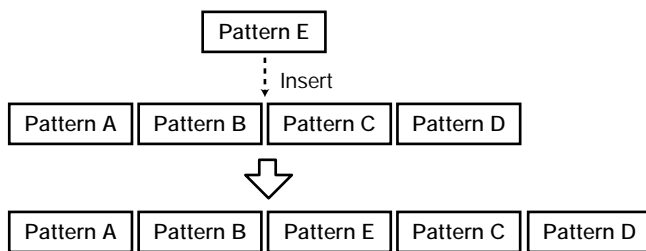


1曲のソングには、最大255ステップのパターンが書き込めます。パターン選択をやり直したい場合は、[VALUE UP/DOWN]キーの[-]キーを押すことで、前のステップに移動することができます。

操作 7 現在選択されているステップの位置にパターンを挿入したい場合は、[INSERT/COPY]キーを押して、操作4を行ってください。

現在選択されているステップに新規パターンが挿入され、それ以降のステップが1つずつ後ろにずれます。

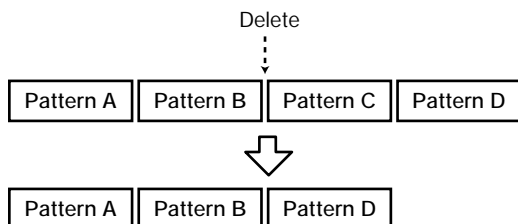
[INSERT/COPY]



操作 8 現在選択されているステップを削除したい場合には、[DELETE/ERASE]キーを押してください。

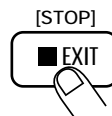
現在選択されているステップが削除され、それ以降のステップが1つずつ前にずれます。

[DELETE/ERASE]



操作 9 1曲分のソングが完成したら [STOP] キーを押してください。

[REC]キーのLEDが消灯し、ソングの記録を終了します。このとき、ソングの位置は1ステップ目に戻ります。



操作 10 ソングを聴くには、[START] キーを押してください。

[START]キーのLEDが点灯し、ソングが再生されます。また、[TEMPO]キーのLEDがテンポに合わせて点滅します。再生中には、[VALUE]インジケータに現在のステップ番号、[SONG/PATTERN]インジケータにソング番号が表示されます。



また、ソングの再生中に[PATTERN]ボタンを押すと、[VALUE]インジケータの表示がソング先頭からの小節数に変わります。



- ・再生中に操作2を行えば、再生を停止せずに次々とソングを変えることができます。
- ・ソング再生中に[VALUE UP]キーを押すと、押している間[KIT/TRACK SELECT]キーのLEDが点灯しているトラックだけのソロパターンを聴くことができます。
- ・またソング再生中に[VALUE DOWN]キーを押すと、押している間[KIT/TRACK SELECT]キーのLEDが点灯しているトラック以外のパターンを聴くことができます。

操作 11 [STOP] キーを押してソング再生を停止してください。

LEDが消灯し、ソングは先頭の位置に戻ります。再度[START]キーを押すとソングの先頭から再生されます。



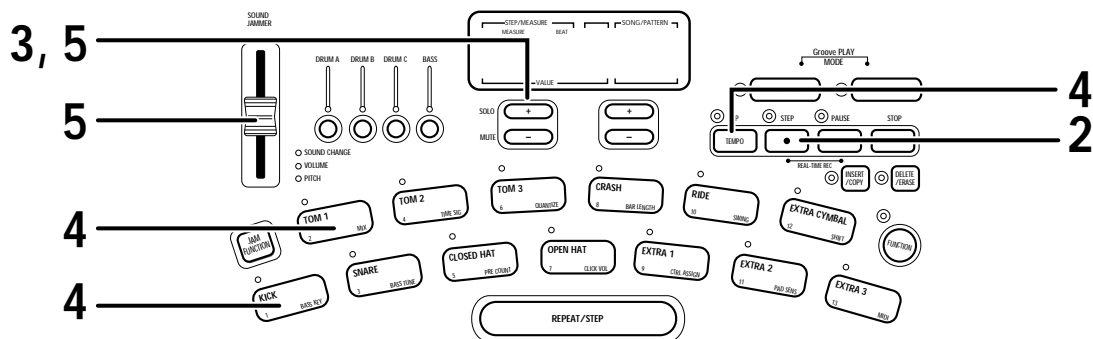
[STOP]キーの代わりに[START]キーを押すとLEDが点滅しポーズ(一時停止)状態となります。この状態から再生を開始すると止まった位置からスタートします。



ソングの再生中にもパッドを使ったマニュアル演奏が行えます。ただし、[SOUND JAMMER]スライダーによるモディファイ効果は、ソングによって再生される音に対しては無効です。

ソングの編集

ここでは、すでにパターンを書き込んだソングに対し、曲の途中でテンポや音量などを変化させる方法を説明します。



操作 1 ソングモードでテンポや音量を変化させたいソングを選んでください。

操作 2 [REC]キーを押してください。

[REC]キーのLEDが点灯し、ソングの編集が可能となります。

操作 3 [VALUE UP/DOWN]キーで編集したいステップを選択してください。

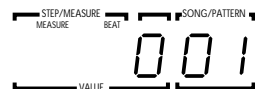
[VALUE]インジケータにステップ番号、[SONG/PATTERN]インジケータには現在選択されているパターン番号が表示されます。



操作 4 変更したい要素に応じてつぎの各キー(パッド)を押してください。

- パターンのテンポチェンジを設定したい場合.....[TEMPO]キー
- パターンの音量を設定したい場合.....パッド2(MIX)
- ベーストラックのトランスポーズを設定したい場合
-パッド1(BASS KEY)

選択した要素に応じて、[VALUE]インジケータに現在の設定値が表示されます。



操作 5 変更したい要素の各キー(パッド)を押しながら、[VALUE UP/DOWN]キーまたは[SOUND JAMMER]スライダーで設定値を変更してください。

各要素の可変範囲はつぎの通りです。

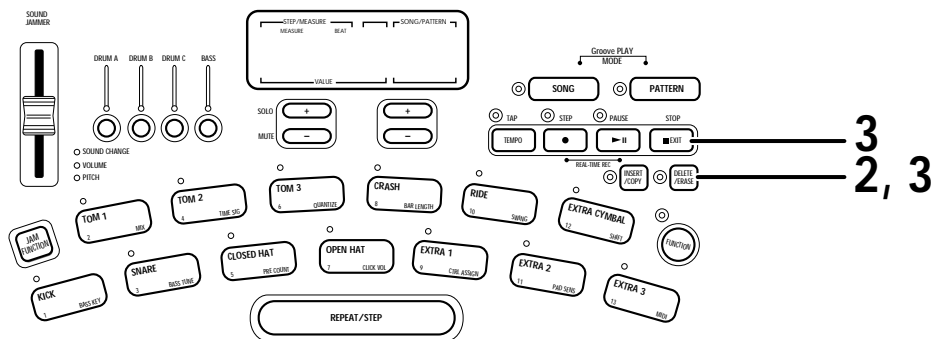
- テンポチェンジ..... - 30 ~ 0 ~ 30BPM
- 音量..... 0 ~ - 30
- トランスポーズ..... - 6 ~ 0 ~ 6(半音単位)



操作 6 必要な要素をすべて設定するまで、操作3~5を繰り返してください。

ソングの消去

新たなソングを作る場合など、ソングをまるごと消去する方法を説明します。

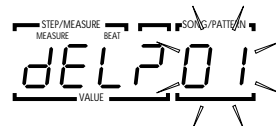


操作 1 ソングモードで消去したいソングを選んでください。

操作 2 [DELETE/ERASE]キーを押してください。

[DELETE/ERASE]キーのLEDとソング番号が点滅し、[VALUE]インジケータに“dEL?”と表示されます。

[DELETE/ERASE]



操作 3 ソングの消去を実行したい場合は[DELETE/ERASE]キー、取り消したい場合は[STOP]キーを押してください。

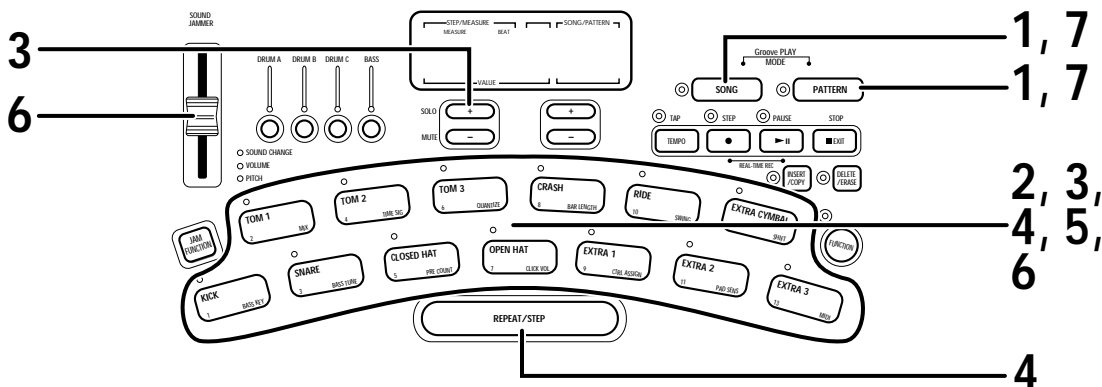
消去を実行した場合は、空のソングが選ばれた状態でソングモードに戻ります。ソングの消去を取り消した場合は、元のソングが選ばれた状態でソングモードに戻ります。



一度消去したソングは復帰できません。ソングの消去は慎重に行ってください。

パッドを使ってパターンを鳴らそう (グループプレイ)

ここではグループプレイモードの操作について説明します。グループプレイモードとは、13個のパッドに再生したいパターンを割り当てて、パッドを使ってパターンを切り替えながら演奏するモードです。最大4つのパターンを同時に再生することもでき、拍子の異なる2つのパターンを同時に鳴らしたり、同じ拍子のパターンを1拍ずらして鳴らすことで、複雑なリズムを作り出すことが可能です。



操作1 [SONG]キーと[PATTERN]キーを同時に押してください。

RhythmTrak...234がグループプレイモードとなり、[SONG]キーと[PATTERN]キーの両方のLEDが点灯します。

操作2 お好きなパッドを押してみてください。

RhythmTrak...234が初期状態のときは、パッド1～13に“グループパターン”と呼ばれるグループプレイ専用のパターンが1つずつ割り当てられており、パッドを押さえ続けることでそのパターンが繰り返し再生されます。このとき、[VALUE]インジケータにパターン番号が表示されます。

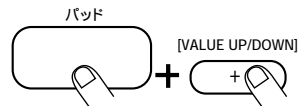
また、パッドを叩く強さに応じてパターン全体の音量が変化します。



操作3 パッドに割り当てるパターンを変えたいときは、パッドを押さえたまま[VALUE UP/DOWN]キーでパターンを選択してください。

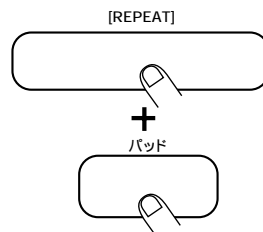
グループパターン (G01 ~ G99) またはユーザーパターン (01 ~ 99) が選択できます。

HINT パッドごとのパターンの割り当ては、電源を切っても記憶されます。



操作4 パッドを離しても繰り返し再生させたい場合は、[REPEAT/STEP]キーを押しながらパッドを押してください。

パッドを離しても、そのパターンがグループ再生されます。再度同じパッドを押せばグループ再生が解除され、通常のグループプレイに戻ります。



パッドを使ってパターンを鳴らそう(グループプレイ)

操作 5 複数のパターンを同時に鳴らしたいときは、複数のパッドを押さえてください。

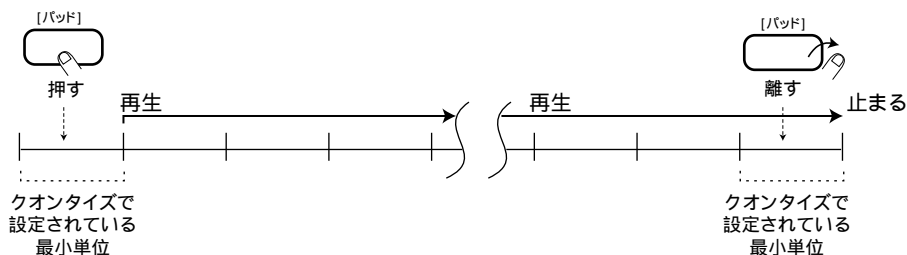
最大4つまでのパターンが同じテンポで同時再生されます。それぞれのパッドを押さえるタイミングをずらして演奏させることも可能です。



5つ以上のパッドを同時に押さえた場合は、後から押したパッドが優先されます。



- ・ グループプレイモードでは、[START]キー / [STOP]キーを使って現在選ばれているソングの再生 / 停止が可能です。
- ・ グループの再生中には、同時に鳴らす他のグループやソングとタイミングが合うように、クオンタイズで設定された間隔(最小単位の音符)でパッド操作(押す / 離す)を検出しています。このため、速いテンポで演奏するときはクオンタイズの値を小さめに設定するとタイミングが合いやすくなります。また、微妙なタイミングのズレを楽しむにはクオンタイズの値を大きめに設定するといいでしょう。

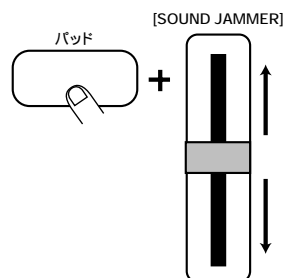


操作 6 パターンのピッチ、音量、音色を連続的に変化させたいときは、パッドを押さえながら[SOUND JAMMER]スライダーを動かしてください。

グループプレイモードでも、[SOUND JAMMER]スライダーによるモディファイ演奏が行えます。[SOUND JAMMER]スライダーの効果は、[KIT/TRACK SELECT]キーで選ばれているトラックのすべての音に対して有効です。



[SOUND JAMMER]スライダーで変化させる要素は [JAM FUNCTION]キーで選択します。詳しくは13ページをご参照ください。



操作 7 グループプレイモードを抜け出したいときは、[SONG]キーまたは[PATTERN]キーを押してください。

RhythmTrak...234がソングモードまたはパターンモードとなります。



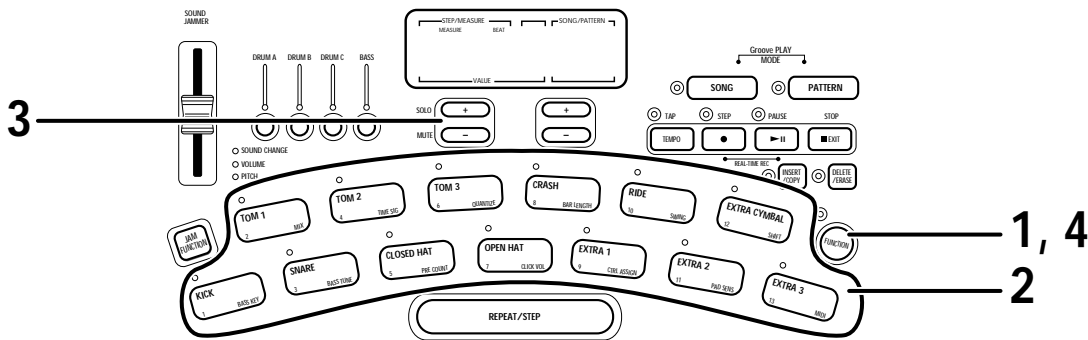
操作3で「00」のパターン番号を割り当てたパッドは、パターンモードのマニュアル演奏と同じように、そのパッド本来の音色(現在選ばれているキットの中でそのパッドに割り当てられた音色)を演奏できます。

ファンクションキーの設定

[FUNCTION]キーは、RhythmTrak...234の各種設定を行うためのキーです。RhythmTrak...234のフロントパネルにある13個のパッドには、[FUNCTION]キーで設定可能な項目が割り当てられています(各パッドの右下に項目名が印刷されています)。[FUNCTION]キーパッドの順で押すことで、該当する項目を設定することができます。ここでは[FUNCTION]キーの基本操作や、設定可能な各項目について説明します。

ファンクションキーの基本操作

[FUNCTION]キーの操作手順は、ほとんどが共通しています。基本的な操作手順は次の通りです。



操作 1 [FUNCTION]キーを押してください。

[FUNCTION]のLEDが点滅し、設定する項目を選べる状態となります。



項目によっては、パターンモードで停止中の場合のみ選択できるものがあります。

[FUNCTION]



操作 2 設定したい要素に応じて、パッドを押してください。

設定する項目を選択するには、パッドを使用します。フロントパネルのパッドには、それぞれ次の項目が割り当てられています。

- パッド1(BASS KEY).....ベースプログラムの音高を半音単位で調節します。
- パッド2(MIX).....パターン/トラックのレベルを設定します。
- パッド3(BASS TUNE).....ベースプログラムのチューニングを調節します。
- パッド4(TIME SIG).....パターンの拍子を設定します。
- パッド5(PRE COUNT).....前カウントのオン/オフや小節数を設定します。
- パッド6(QUANTIZE).....クオンタイズの値を設定します。
- パッド7(CLICK VOL).....メトロノーム音の音量を設定します。
- パッド8(BAR LENGTH).....パターンの小節数を設定します。
- パッド9(CTRL ASSIGN).....フットスイッチ/フットペダルの機能を選択します。
- パッド10(SWING).....再生時のスイング量を設定します。
- パッド11(PAD SENS).....パッドの感度を調節します。
- パッド12(SHIFT).....再生タイミングを前後にずらす量を設定します。



パッドで選ばれた項目の設定値

パッド 13(MIDI).....MIDI受信のオン/オフやトラックごとのMIDIチャンネルを設定します。

[VALUE]インジケーターにパッドで選ばれた項目の設定値が表示されます。



項目によっては、パッドを押して項目を選んだ後で、操作の対象となる音色やトラックを選択する必要があります。

操作 3 [VALUE UP/DOWN]キーで、設定値を変更してください。



設定する項目によっては[SOUND JAMMER]スライダーで値を変更できるものがあります。



操作 4 [FUNCTION]キーをもう一度押してください。

RhythmTrak...234が以前の状態に戻り、操作3で変更したファンクションの設定値が確定します。ファンクション設定を中断したいときは、操作3の前に[FUNCTION]キーを押してください。

ファンクションキーの各項目

ここでは、ファンクションキーに割り当てられた各項目の設定範囲と機能を説明します。

■ ベース音の音高を半音単位で調節する(BASS KEY)

【設定範囲】パッド1の音高：A1～A2
パッド2～13の音高：E1～A4

各パッドに割り当てられたベースプログラムの音高を半音単位で調節します。ベースプログラム全体の音高を上下させる方法と、パッド2～13の音高を個別に調節する方法があります。

ベースプログラム全体の音高を上下させるには
[FUNCTION]キー パッド1(BASS KEY)の順で押した直後には、パッド1に割り当てられた音名(A1～A2)が[VALUE]インジケータに表示されます。[VALUE UP/DOWN]キーまたは[SOUND JAMMER]スライダーを操作してこの音名を変更すれば、それに伴ってパッド2～13の音高も平行移動します。

パッド2～13の音高を個別に上下させるには
[FUNCTION]キー パッド1(BASS KEY)の順で押した後で、パッド2～13のうちいずれか1つを押しながら[VALUE UP/DOWN]キーまたは[SOUND JAMMER]スライダーでそのパッドに割り当てる音名(E1～A4)を指定します。この場合は、他のパッドの音高には影響しません。

パッド1=A2のとき

パッド1=A1のとき

E 1 . . . E 2 F 2 F#2 G 2 G#2 A 2 A#2 B 2 C 3 C#3 D 3 D#3 E 3 . . . A 3 . . . A 4
E 1 . . . E 2 F 2 F 2 G 2 G 2 A 2 A 2 B 2 C 3 C 3 D 3 D 3 E 3 . . . A 3 . . . A 4

HINT この設定は、パターンごとに記憶されます。

■ トラックのレベルを設定する(MIX)

【設定範囲】0～99

パターンのトラックごとの音量を0～99の範囲で調節します。
この項目を選んだときは、[KIT/TRACK SELECT]キーでトラックを選択してから、[VALUE UP/DOWN]キーまたは[SOUND JAMMER]スライダーで設定値を変更してください。この操作はトラックごとに独立して行えます。

HINT この設定は、パターンごとに記憶されます。

■ ベース音のチューニングを調節する(BASS TUNE)

【設定範囲】435 ~ 445 (初期設定値: 440)

ベース音のピッチを、[VALUE UP/DOWN]キーを使って435Hz ~ 445Hzの範囲でチューニングします。

■ パターンの拍子を設定する(TIME SIG)

【設定範囲】2、3、4

パターンの拍子を、[VALUE UP/DOWN]キーで2(2/4拍子)、3(3/4拍子)、4(4/4拍子)の中から選択します。

すでに録音されているパターンの拍子を変更することもできますが、その場合録音された演奏がつぎのように変化します。特に短くする場合は注意が必要です。

現在の拍子よりも長くする場合

各小節の後ろの長くなった部分に空白が追加されます。

現在の拍子よりも短くする場合

各小節の飛び出ている部分の演奏が削除されます。一度[FUNCTION]キーの設定を抜けて変更が確定されると、やり直しはできませんのでご注意ください。



この設定は、パターンごとに記憶されます。

■ 前カウントを設定する(PRE COUNT)

【設定範囲】0、1、2、PAd (初期設定値: 0)

パターンのリアルタイム録音時の前カウント(録音開始前のメトロノーム音)の有無や、小節数などを[VALUE UP/DOWN]キーで設定します。この設定はすべてのパターンに共通です。

各設定値の内容は以下の通りです。

0: 録音をスタートすれば、すぐにリアルタイム録音開始となります。

1: 1小節のカウントが鳴ってからリアルタイム録音が始まります。

2: 2小節のカウントが鳴ってからリアルタイム録音が始まります。

PAd: 録音が待機状態となり、いずれかのパッドを叩くと同時に録音が始まります。

■ パターンの分解能を設定する(QUANTIZE)

【設定範囲】4、8、12、16、24、32、48、Hi (初期設定値: 16)

パターンのクオンタイズの値(最小単位となる音符)を設定します。

この項目を選んだときは、[VALUE UP/DOWN]キーまたは[SOUND JAMMER]スライダーで設定値を変更してください。

クオンタイズの値は、以下の4つの機能に影響します。

リアルタイム録音時に最小単位となる音符

ステップ録音時に最小単位となる音符

[REPEAT/STEP]キーを押しながらパッドを押さえたときの連打音の間隔

グループ再生時のパッドの押し離しの検出タイミング

クオンタイズの値は、以下の9種類から選択できます。

44分音符	1616分音符	4832分3連音符
88分音符	2416分3連音符	Hi	...クオンタイズなし
128分3連音符	3232分音符	ステップ録音時	1チック (4分音符の1 / 96))



- クオンタイズの値がHiの場合でも、[REPEAT/STEP]キーによる連打音の間隔は32分3連音符となります。
- トラック別にクオンタイズ値を設定することはできません。

メトロノーム音の音量を設定する(CLICK VOL)

【設定範囲】0 ~ 99 (初期設定値: 70)

リアルタイム録音時に鳴るメトロノーム音の音量を[VALUE UP/DOWN]キーで調節します。この設定はすべてのパターンに共通です。

パターンの小節数を設定する(BAR LENGTH)

【設定範囲】1 ~ 99

パターンの長さを1 ~ 99小節の範囲で設定します。すでに録音されているパターンの小節数を変更することもできますが、その場合録音された演奏がつぎのように変化します。特に短くする場合は注意が必要です。

現在の小節数よりも長くする場合

パターンの後ろの長くなった部分に空白の小節が追加されます。

現在の小節数よりも短くする場合

パターンの最後から飛び出ている小節の演奏が削除されます。一度[FUNCTION]キーの設定を抜け出て変更が確定されると、やり直しはできませんのでご注意ください。



この設定は、パターンごとに記憶されます。

フットスイッチ / フットペダルの機能を選択する(CTRL ASSIGN)

リアパネルの[CTRL1 IN] / [CTRL2 IN]端子に接続したフットペダル(FP01)やフットスイッチ(FS01)の機能を設定します。

FP01を接続した場合

[FUNCTION]キー [CTRL ASSIGN]パッド(パッド9)の順に押しFP01を動かすことで設定可能な状態となります。[JAM FUNCTION]キーにより変化させたい要素を選択すれば、FP01で[SOUND JAMMER]スライダーと同様にピッチ、音量、音色を連続変化させることができます(13ページをご参照ください)。このとき、設定された機能が[VALUE]インジケーターにそれぞれ“Pit”、“VoL”、“SndC”と表示されます。

[SOUND JAMMER]スライダーとCTRL1 IN、CTRL2 INのそれぞれに違う要素を設定することができます。

FS01を接続した場合

FS01を踏みこんだ状態のまま、パッド1～13または[START]/[STOP]キーを押すことで、FS01の機能を指定できます。

パッドを1つ押した場合

FS01を踏んだときに、そのパッドに割り当てられた音を鳴らすことができます。例えばバスドラムの音色を足元でマニュアル演奏したいときなどに利用します。

パッドを2つ続けて押した場合

最初に選んだパッドの音色をFS01で切り替えることが可能となります。FS01を踏んだ状態では最初に選んだパッドの音色、FS01を踏んでいない状態では2番目に選んだパッドの音色が演奏されます。(例えばオープンハイハットとクローズハイハットの音色を足元で切り替えたいときなどに利用します)。また、FS01を踏んだときはパッドを叩かなくても最初に選んだパッドの音色が鳴ります。

[START]/[STOP]キーを押した場合

FS01でRhythmTrak...234の再生/停止のコントロールが行えます。



FP01、FS01が接続されていない場合や、[FUNCTION]を押したときに踏み込まれていない場合は、上記の操作は無効です。

再生時のスイング量を設定する(SWING)

【設定範囲】50～75(初期設定値:50)

パターンを再生するときのスイング量(リズムの跳ね具合)を設定します。数値が大きくなるほど跳ね具合が大きくなります。なお、この項目はパターンの再生時のタイミングを変えるだけで、パターンに録音された演奏データには影響しません。

パッドの感度を設定する(PAD SENS)

【設定範囲】Soft, MEd, Loud, LtE, norM, HArd, Ehrd(初期設定値:norM)

パッドを叩く強さに対する感度を[VALUE UP/DOWN]キーを使って設定します。

各設定値の内容は以下の7種類です。

Soft(Fixed Soft).....叩く強さに関係なく小さな音量となります。

MEd(Fixed Medium).....叩く強さに関係なく中くらいの音量となります

Loud(Fixed Loud).....叩く強さに関係なく大きな音量となります。

LtE(Light).....最も感度の高い設定で、弱く叩いても大きな音量が得られます。

norM(Normal).....中間の感度の設定です。

HArd(Hard).....感度の低い設定です。

Ehrd(Extra Hard).....最も感度の鈍い設定で、大きな音を出すには強く叩く必要があります。

再生タイミングを前後にずらす(SHIFT)

【設定範囲】-192～+192(初期設定値:0)

現在選ばれているパターンに録音された特定のトラックの再生タイミングを、1チック(4分音符の1/96)単位、最大2拍までの範囲で前後にずらします。

この項目を選んだときは、[VALUE UP/DOWN]キーまたは[SOUND JAMMER]スライダーで設定値を変更してください。パターンに録音された演奏データのタイミングがこのファンクションを抜けるときに書き替わります。

“ - ”に設定した場合

設定したトラックの再生タイミングが前にずれます。このとき前にずれたパターンは削除されます。

“ + ”に設定した場合

設定したトラックの再生タイミングが後ろにずれます。このとき後ろにずれたパターンは削除されます。

一度[FUNCTION]キーの設定を抜け出て変更が確定されると、やり直しはできませんのでご注意ください。

■ MIDI受信のオン/オフを設定する(MIDI)

【設定範囲】Int, Midi (初期設定値 : Int)

この項目がMidiに設定されている場合、RhythmTrak・・・234が外部シーケンサーから送られる以下のメッセージを受信します。

MIDIクロック	スタート
ストップ	コンティニュー



この項目がMidiのときには、リアルタイム録音が行えません。

■ トラックごとの受信MIDIチャンネルを設定する(MIDI)

【設定範囲】0, 1 ~ 16(ドラムトラック) 0, 1 ~ 16, Auto(ベーストラック)

(初期設定値 ドラムトラックA : 10 / ドラムトラックB : 0 / ドラムトラックC : 0 / ベーストラック : 9)

各トラックの受信MIDIチャンネルを設定します。ドラムトラックは0(受信しない)、1 ~ 16の中から選択できます。また、ベーストラックは0(受信しない)、1 ~ 16、Auto(自動受信)の中から選択できます。

“ Auto ”は市販の演奏データ(GM音源対応のスタンダードMIDIファイル)で本機を演奏するときに、ベーストラックのMIDIチャンネルを自動的に演奏データに合わせる特殊な設定です。本機がGM音源のベース音色を選ぶメッセージを受信したときに、自動的にベーストラックがそのMIDIチャンネルに切り替わります。

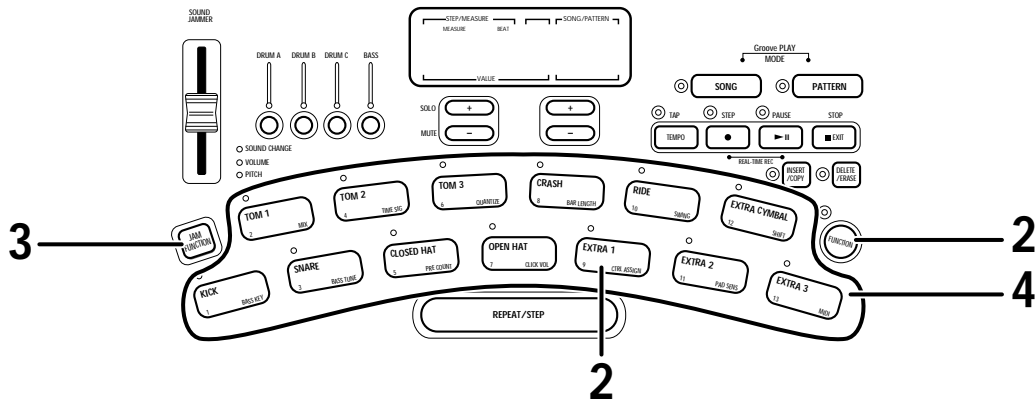
受信MIDIチャンネルの設定を変更するには、設定したいトラックの[KIT/TRACK SELECT]キーを押しながら、[VALUE UP/DOWN]キーまたは[SOUND JAMMER]スライダーで設定値を変更してください。この操作はトラックごとに独立して行えます。

RhythmTrak...234の応用例

ここではRhythmTrak...234をオプションや外部機器と組み合わせた場合の応用例を紹介します。

FP01でRhythmTrak...234をコントロールする

リアパネルの[CTRL1 IN] / [CTRL2 IN]端子に別売のフットペダル(FP01)を接続すれば、[SOUND JAMMER]スライダーと同じようにピッチや音色変化などをFP01からコントロールできます。



操作1 FP01をリアパネルの[CTRL1 IN] / [CTRL2 IN]端子に接続してください。

接続方法は3ページをご参照ください。

HINT どちらの端子に接続した場合でも、機能は全く同等です。

操作2 [FUNCTION]キーとパッド9(CTRL ASSIGN)を使って、FP01が[SOUND JAMMER]スライダーと同等に機能するように設定してください。

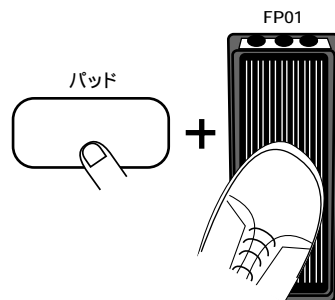
設定方法は45ページをご参照ください。

操作3 [JAM FUNCTION]キーを使って、変化させる要素を選んでください。

選択方法は13ページをご参照ください。

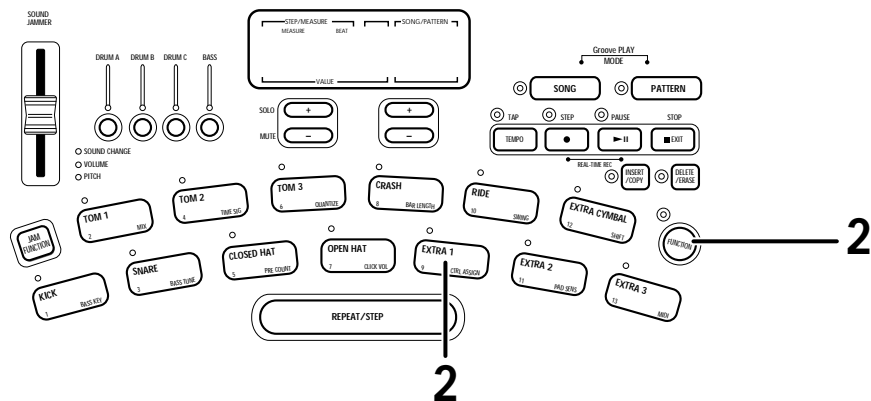
操作4 パッドを叩きながらFP01を動かしてください。

[SOUND JAMMER]スライダーで操作したときと同じ効果が得られます。



FS01でRhythmTrak...234をコントロールする

リアパネルの[CTRL1 IN] / [CTRL2 IN]端子に別売のペダルスイッチ(FS01)を接続すると、パッドラムのように足元で音を鳴らしたり、ハイハットのクローズとオープンのように、元で音色を切り替えながら演奏することができます。また、[START]キーや[STOP]キーの代わりに足元でRhythmTrak...234の再生 / 停止をコントロールできます。



操作 1 FS01をリアパネルの[CTRL1 IN] / [CTRL2 IN]端子に接続してください。

接続方法は3ページをご参照ください。

操作 2 [FUNCTION]キーとパッド9(CTRL ASSIGN)を使って、FS01の機能を選択してください。

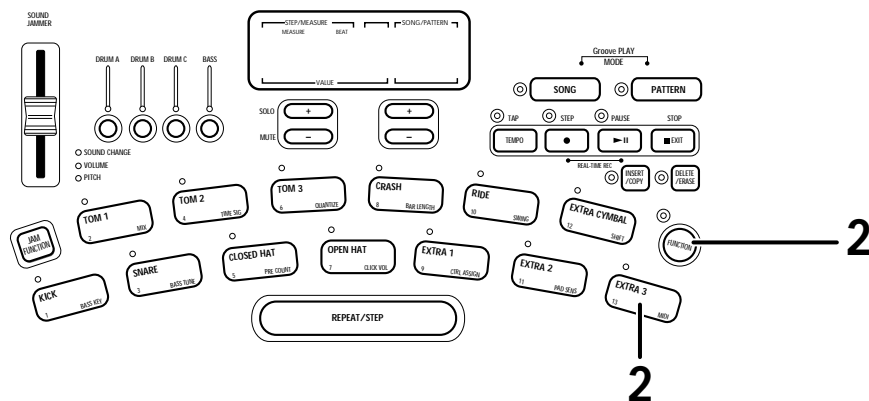
選択方法は45ページをご参照ください。

操作 3 パターンモードまたはプレイモードでFS01を操作してください。

操作2で選んだ機能に応じて、FS01で特定のパッドの音色を鳴らしたり、パッドの音色を切り替えたり、パターン/ソングの再生/停止を操作できます。詳しくは46ページをご参照ください。

MIDI機器と同期演奏させる

RhythmTrak...234とMIDI端子を装備しているシーケンサーやリズムマシンとの同期演奏ができます。同期演奏の場合は、外部シーケンサー側で決められたテンポに合わせてRhythmTrak...234のパターンやソングが再生されます。



- 操作1** MIDIシーケンサーやリズムマシンなどのMIDI機器のMIDI OUT端子と、RhythmTrak...234の[MIDI IN]端子をMIDIケーブルで接続してください。

接続方法は3ページをご参照ください。



外部MIDIシーケンサーが、MIDIクロック、スタート、ストップ、コンティニューを送信可能な状態にあることを確認してください。

- 操作2** [FUNCTION]キーとパッド13(MIDI)を使って、RhythmTrak...234がMIDIクロックその他のメッセージを受信できるように設定してください。

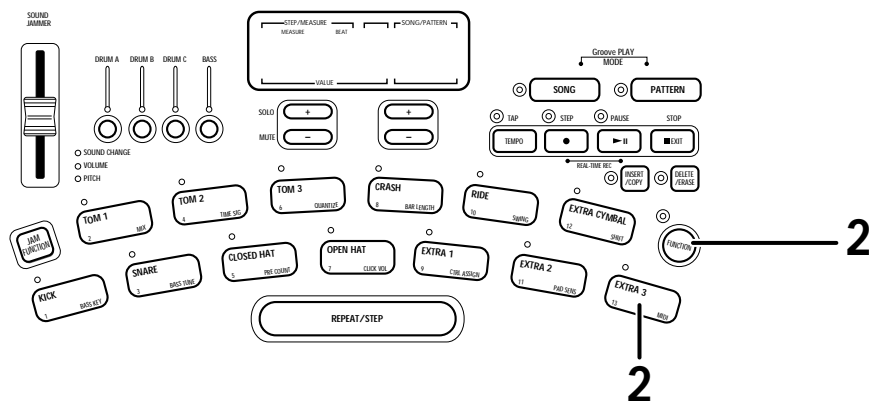
設定方法は47ページをご参照ください。

- 操作3** 外部MIDIシーケンサーをスタートしてください。

RhythmTrak...234が外部MIDIシーケンサーに追従して再生します。

MIDI機器からRhythmTrak...234の音を鳴らす

外部MIDIシーケンサーやMIDIキーボードなどで、RhythmTrak...234の内蔵音源を鳴らすことができます。



操作 1 MIDIシーケンサーなどMIDI機器のMIDI OUT端子と、RhythmTrak...234の[MIDI IN]端子をMIDIケーブルで接続してください。

操作 2 [FUNCTION]キーとパッド13(MIDI)を使って、RhythmTrak...234の各トラックの受信MIDIチャンネルを、外部MIDI機器の送信MIDIチャンネルに合わせてください。

トラックごとのMIDIチャンネルの設定方法は47ページをご参照ください。

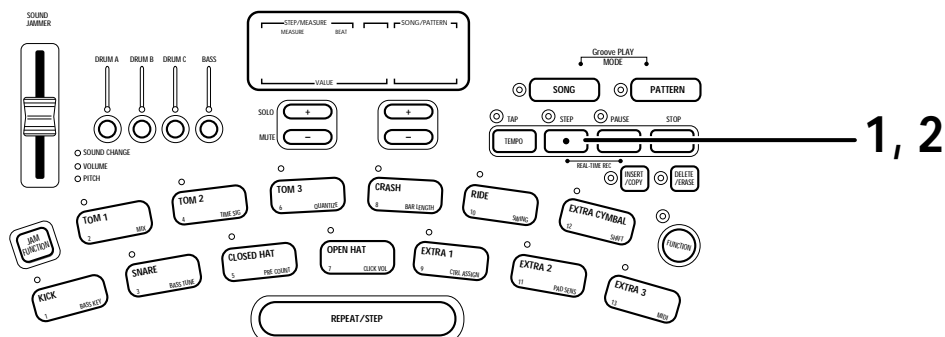
操作 3 外部MIDIシーケンサーやキーボードを演奏してください。

[MIDI IN]端子に入力されたノートナンバーに応じてRhythmTrak...234の音が鳴ります。

また、プログラムチェンジでRhythmTrak...234のドラムキットやベースプログラムを切り替えることも可能です。プログラムチェンジナンバーとドラムキット/ベースプログラムの割り当ては、巻末の資料をご参照ください。

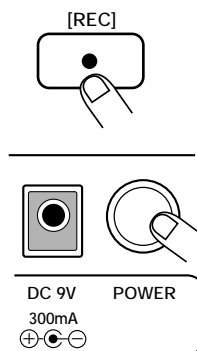
RhythmTrak...234を工場出荷時の状態に戻す(イニシャライズ)

RhythmTrak...234に記録されているすべてのデータを、初期化(工場出荷時の状態に戻す)します。イニシャライズを実行すると、新たに記録したパターンやソングの内容は消去されてしまいますので、ご注意ください。



操作 1 [REC]キーを押したままRhythmTrak...234の電源を入れてください。

ディスプレイに“Init”という文字が点滅した状態で表示されます。

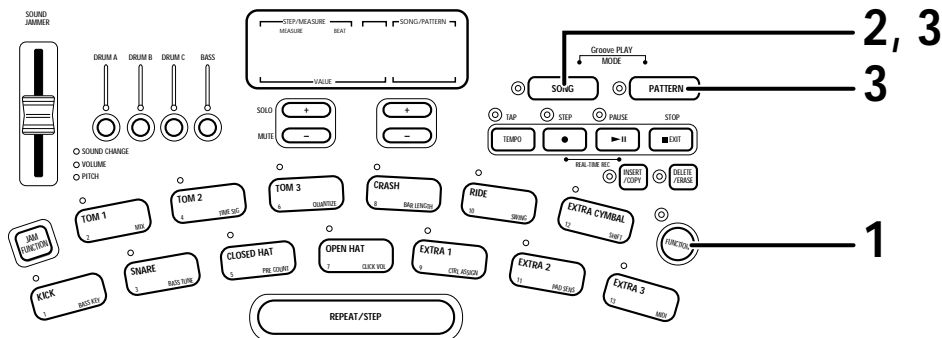


操作 2 イニシャライズを実行する場合はもう一度[REC]キーを、取り消す場合は[STOP]キーを押してください。

イニシャライズを実行した場合には、内部のデータが工場出荷時の状態に戻り、RhythmTrak...234が再起動します。

取り消した場合には、通常電源を入れたときと同じ状態でRhythmTrak...234が起動します。

デモ演奏を聴くには



操作 1 [FUNCTION]キーを押してください。

[FUNCTION]キーのLEDが点滅します。

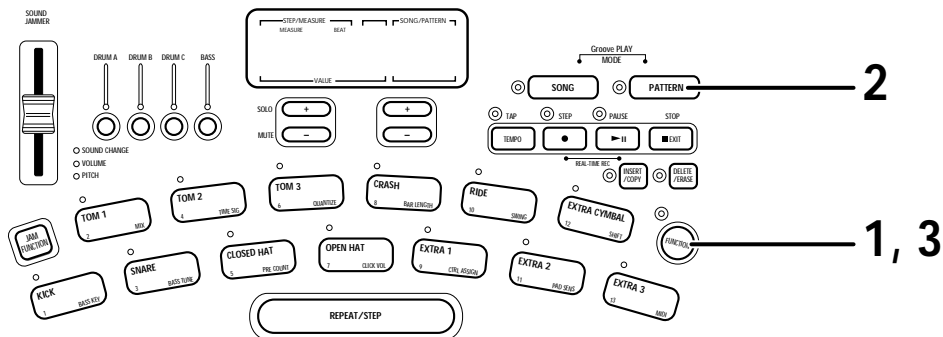
操作 2 [SONG]キーを押してください。

デモ演奏が始まります。デモ演奏は停止しない限り、繰り返し演奏されます。

操作 3 デモ演奏を止めるには、[SONG]キーまたは[PATTERN]キーを押してください。

[SONG]キーを押せばソングモード、[PATTERN]キーを押せばパターンモードになります。

メモリの残量を確認するには



操作 1 [FUNCTION]キーを押してください。

[FUNCTION]キーのLEDが点滅します。

操作 2 [PATTERN]キーを押してください。

[FUNCTION]キーのLEDが点灯し、[PATTERN]キーのLEDが点滅します。このとき、メモリの残量が[VALUE]インジケーターにパーセント単位で表示されます。

操作 3 メモリ残量の表示から戻るには、[FUNCTION]キーを押してください。

メモリ残量を確認する前のモードに戻ります。

故障かな？と思われる前に

RhythmTrak...234の動作がおかしいと感じられた場合は、まずつぎの項目を確認してください

症状	確認	対策
音が出ない、もしくは非常に小さい	適切なACアダプターが正しく接続されていますか？	「接続しましょう」の説明(3ページ)に従って、ACアダプターを本機に正しく接続してください。本機に付属のACアダプターのみをご使用ください。
	[OUTPUT]端子と再生装置が正しく接続されていますか？	「接続しましょう」の説明(3ページ)に従って正しく接続してください。
	ご使用のシールドケーブルは正常ですか？	他のシールドケーブルに交換してみてください。
	接続している再生装置は正常に動作していますか？ ボリュームは適切ですか？	各装置の動作を確認して、適切な音量に調節してください。
	RhythmTrak...234の[VOLUME]コントロールは適切ですか？	適切な音量になるように調節してください。
	[SOUND JAMMER]スライダーやFP01で音量を最小に設定していませんか？	[SOUND JAMMER]スライダーやFP01を上げてください。
音が歪む、割れる	RhythmTrak...234の出力信号が大きすぎませんか？	RhythmTrak...234の[VOLUME]コントロールを適切な音量になるように調節してください。
ソングに記録できない	ソングモード以外のモードが選ばれていませんか？	ソングモードを選んでください(34ページ)。
	メモリーを使い切っていませんか？	不要なパターンやソングを消去してください。
[SOUND JAMMER]スライダーの効果が無い	[SOUND JAMMER]スライダーでコントロールする要素を切り替えたばかりではありませんか？	[SOUND JAMMER]スライダーでコントロールする要素を切り替えた直後は、スライダーを動かして新しい要素の設定値を通過するまで効果がありません。
FP01 / FS01の効果が無い	FP01 / FS01が[CTRL1 IN] / [CTRL2 IN]端子に正しく接続されていますか？	「接続しましょう」の説明(3ページ)に従って、正しく接続してください。
	FP01 / FS01の機能が有効になるように設定しましたか？	[FUNCTION]キーとパッド(CTRL ASSIGN)を使って設定してください(45ページ)。
	FP01 / FS01の機能を設定するときに、ペダルまたはスイッチを踏み込まずに[FUNCTION]キーを押さなかったか？	ペダルまたはスイッチを踏み込んだ状態で[FUNCTION]キーを押し、設定を行ってください(45ページ)。
パッドを叩くと音が鳴るのに、MIDI経由の演奏ができない。	MIDI受信がオンになっていますか？	[FUNCTION]キーとパッド13(MIDI)を使って“Int (MIDIを受信しない)から”Midi (MIDIを受信する)に切り替えてください。

製品仕様

ドラムキット:	124 (パーカッション, SFXセットを含む)
ベースプログラム:	50
リズムパターン:	プリセット; 99 / ユーザー; 99 / プリセットグループ; 99
ソング:	99 ソング
最大記憶音数:	13,000音
最大同時発音数:	32音
分解能:	96クロック / 4分音符
テンポ:	40 ~ 250 BPM
パッド:	13 (ペロシティーセンス付)
スライダー:	サウンドジャマー
外部コントロール端子:	MIDI IN, FP01 / FS01用コントロール
ディスプレイ:	6桁7セグメントLED
インプットライン:	標準フォーンジャック (モノ) × 1, インピーダンス 10k
アウトプット:	ライン (L/Mono, R); 標準フォーンジャック (モノ) × 2, インピーダンス 2.2k 以下 ヘッドフォーン; 標準フォーンジャック (ステレオ) × 1, 出力電力 50mW (32 出力負荷時)
電源:	9V DC/300mA (専用ACアダプターAD-0006A付属)
外形寸法:	297(W) × 215(D) × 43(H)mm
重量:	1.0kg
アクセサリ:	エクスペッションペダルFP01 フットスイッチFS01

製品の仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

MIDI ProgramChange# to DRUM/Percussion/SFX KIT Assign

PC	KIT#	KIT	PC	KIT#	KIT	PC	KIT#	KIT
0	9	GM Drum	43	36	Standard 7	86	82	Rap/HipHop 3
1	39	Standerd 10	44	37	Standard 8	87	83	Rap/HipHop 4
2	0	Live Rock	45	38	Standard 9	88	84	Rap/HipHop 5
3	1	Studio	46	40	Funk Trap 1	89	85	Rap/HipHop 6
4	2	Standard	47	41	Funk Trap 2	90	86	Rap/HipHop 7
5	3	Funk Trap	48	117	Orchestral Set	91	87	Rap/HipHop 8
6	4	Epic Rock	49	42	Funk Trap 3	92	88	Rap/HipHop 9
7	5	Ballad	50	43	Funk Trap 4	93	89	Rap/HipHop 10
8	19	Live Rock 10	51	44	Funk Trap 5	94	90	Techno Beat 1
9	6	Modern	52	45	Funk Trap 6	95	91	Techno Beat 2
10	7	Rap/HipHop	53	46	Funk Trap 7	96	92	Techno Beat 3
11	8	Techno Beat	54	47	Funk Trap 8	97	93	Techno Beat 4
12	10	Live Rock 1	55	48	Funk Trap 9	98	94	Techno Beat 5
13	11	Live Rock 2	56	50	Epic Rock 1	99	95	Techno Beat 6
14	12	Live Rock 3	57	51	Epic Rock 2	100	96	Techno Beat 7
15	13	Live Rock 4	58	52	Epic Rock 3	101	97	Techno Beat 8
16	59	Epic Rock 10	59	53	Epic Rock 4	102	98	Techno Beat 9
17	14	Live Rock 5	60	54	Epic Rock 5	103	99	Techno Beat 10
18	15	Live Rock 6	61	55	Epic Rock 6	104	100	Drum Skins
19	16	Live Rock 7	62	56	Epic Rock 7	105	101	Lo Percussion
20	17	Live Rock 8	63	57	Epic Rock 8	106	102	Hi Percussion
21	18	Live Rock 9	64	58	Epic Rock 9	107	103	Velocity Switch
22	20	Studio 1	65	60	Ballad 1	108	104	Velocity Layers
23	21	Studio 2	66	61	Ballad 2	109	105	Single Percussion
24	99	Techno Beat 10	67	62	Ballad 3	110	106	Indian Percussion
25	89	Rap/HipHop 10	68	63	Ballad 4	111	107	Temple Blocks
26	49	Funk Trap 10	69	64	Ballad 5	112	108	Percussion Bazaar
27	22	Studio 3	70	65	Ballad 6	113	109	Agogo Gamelan
28	23	Studio 4	71	66	Ballad 7	114	110	Clicks and Sticks
29	24	Studio 5	72	67	Ballad 8	115	111	SFX/1
30	25	Studio 6	73	68	Ballad 9	116	112	SFX/2
31	26	Studio 7	74	70	Modern 1	117	113	SFX/3
32	9	GM Drum	75	71	Modern 2	118	114	SFX/4
33	27	Studio 8	76	72	Modern 3	119	115	SFX/5
34	28	Studio 9	77	73	Modern 4	120	116	Brush Snare Kit
35	29	Studio 10	78	74	Modern 5	121	117	Orchestral Set
36	30	Standard 1	79	75	Modern 6	122	118	Various Percussion 1
37	31	Standard 2	80	76	Modern 7	123	119	Various Percussion 2
38	32	Standard 3	81	77	Modern 8	124	120	Various Percussion 3
39	33	Standard 4	82	78	Modern 9	125	121	Various Percussion 4
40	69	Ballad 10	83	79	Modern 10	126	122	Various Percussion 5
41	34	Standard 5	84	80	Rap/HipHop 1	127	123	Cymbal Set
42	35	Standard 6	85	81	Rap/HipHop 2			

MIDI ProgramChange# to BASS PROGRAM Assign

PC#	PROGRAM#	PROGRAM	PC#	PROGRAM#	PROGRAM	PC#	PROGRAM#	PROGRAM
0	0	Live Bass	43	35	Picked Funk Bass	86	28	Digi Slap Bass
1	1	Studio Bass	44	36	Picked Jazz	87	29	Tumba Tones
2	2	Epic Bass	45	37	Picked Techno	88	30	Conga Keys
3	3	Funk Bass	46	38	Acoustic Techno	89	31	PowerTom Bass
4	4	Ballad Bass	47	39	Power Funk	90	32	Becoming Bass
5	5	Acoustic Bass	48	40	Pops/Pulls Split	91	33	Harmonics Bass
6	6	Modern Bass	49	41	EpicBass Jam/1	92	34	Bass with Harmonics
7	7	Synth Bass	50	42	Tribal Bass Jam/2	93	35	Picked Funk Bass
8	8	Techno Bass	51	43	Wooden Bass	94	36	Picked Jazz
9	9	Big Bottom Bass	52	44	Jazz Bass	95	37	Picked Techno
10	10	SubSlap Bass	53	45	Funk Pops	96	38	Acoustic Techno
11	11	Digital Acoustic	54	46	FunkPulls	97	39	Power Funk
12	12	Bass Harmonics	55	47	Picked Bass	98	40	Pops/Pulls Split
13	13	No Frets	56	48	Analog Bass	99	41	EpicBass Jam/1
14	14	Acoustic Jazz	57	49	Digi Bass	100	42	Tribal Bass Jam/2
15	15	Digital Pick	58	0	Live Bass	101	43	Wooden Bass
16	16	TechnoAnalog	59	1	Studio Bass	102	44	Jazz Bass
17	17	Tabla Bass Tones	60	2	Epic Bass	103	45	Funk Pops
18	18	Tight Analog	61	3	Funk Bass	104	46	FunkPulls
19	19	Analog Fifths	62	4	Ballad Bass	105	47	Picked Bass
20	20	Temple Tones	63	5	Acoustic Bass	106	48	Analog Bass
21	21	Quadra Bass	64	6	Modern Bass	107	49	Digi Bass
22	22	Analog Touch	65	7	Synth Bass	108	0	Live Bass
23	23	Picked Acoustic	66	8	Techno Bass	109	1	Studio Bass
24	24	Bass Dive	67	9	Big Bottom Bass	110	2	Epic Bass
25	25	AnalogOctaves	68	10	SubSlap Bass	111	3	Funk Bass
26	26	SynthTomBass	69	11	Digital Acoustic	112	4	Ballad Bass
27	27	Lo Sine	70	12	Bass Harmonics	113	5	Acoustic Bass
28	28	Digi Slap Bass	71	13	No Frets	114	6	Modern Bass
29	29	Tumba Tones	72	14	Acoustic Jazz	115	7	Synth Bass
30	30	Conga Keys	73	15	Digital Pick	116	8	Techno Bass
31	31	PowerTom Bass	74	16	TechnoAnalog	117	9	Big Bottom Bass
32	5	Acoustic Bass	75	17	Tabla Bass Tones	118	10	SubSlap Bass
33	44	Jazz Bass	76	18	Tight Analog	119	11	Digital Acoustic
34	1	Studio Bass	77	19	Analog Fifths	120	12	Bass Harmonics
35	13	No Frets	78	20	Temple Tones	121	13	No Frets
36	45	Funk Pops	79	21	Quadra Bass	122	14	Acoustic Jazz
37	10	SubSlap Bass	80	22	Analog Touch	123	15	Digital Pick
38	7	Synth Bass	81	23	Picked Acoustic	124	16	TechnoAnalog
39	8	Techno Bass	82	24	Bass Dive	125	17	Tabla Bass Tones
40	32	Becoming Bass	83	25	AnalogOctaves	126	18	Tight Analog
41	33	Harmonics Bass	84	26	SynthTomBass	127	19	Analog Fifths
42	34	Bass with Harmonics	85	27	Lo Sine			

DRUM KITS

0	Live Rock
1	Studio
2	Standard
3	Funk Trap
4	Epic Rock
5	Ballad
6	Modern
7	Rap/HipHop
8	Techno Beat
9	Drum #9
10	Live Rock 1
11	Live Rock 2
12	Live Rock 3
13	Live Rock 4
14	Live Rock 5
15	Live Rock 6
16	Live Rock 7
17	Live Rock 8
18	Live Rock 9
19	Live Rock 10
20	Studio 1
21	Studio 2
22	Studio 3
23	Studio 4
24	Studio 5
25	Studio 6
26	Studio 7
27	Studio 8
28	Studio 9
29	Studio 10
30	Standard 1
31	Standard 2
32	Standard 3
33	Standard 4
34	Standard 5
35	Standard 6
36	Standard 7
37	Standard 8
38	Standard 9
39	Standard 10

40	Funk Trap 1
41	Funk Trap 2
42	Funk Trap 3
43	Funk Trap 4
44	Funk Trap 5
45	Funk Trap 6
46	Funk Trap 7
47	Funk Trap 8
48	Funk Trap 9
49	Funk Trap 10
50	Epic Rock 1
51	Epic Rock 2
52	Epic Rock 3
53	Epic Rock 4
54	Epic Rock 5
55	Epic Rock 6
56	Epic Rock 7
57	Epic Rock 8
58	Epic Rock 9
59	Epic Rock 10
60	Ballad 1
61	Ballad 2
62	Ballad 3
63	Ballad 4
64	Ballad 5
65	Ballad 6
66	Ballad 7
67	Ballad 8
68	Ballad 9
69	Ballad 10
70	Modern 1
71	Modern 2
72	Modern 3
73	Modern 4
74	Modern 5
75	Modern 6
76	Modern 7
77	Modern 8
78	Modern 9
79	Modern 10

80	Rap/HipHop 1
81	Rap/HipHop 2
82	Rap/HipHop 3
83	Rap/HipHop 4
84	Rap/HipHop 5
85	Rap/HipHop 6
86	Rap/HipHop 7
87	Rap/HipHop 8
88	Rap/HipHop 9
89	Rap/HipHop 10
90	Techno Beat 1
91	Techno Beat 2
92	Techno Beat 3
93	Techno Beat 4
94	Techno Beat 5
95	Techno Beat 6
96	Techno Beat 7
97	Techno Beat 8
98	Techno Beat 9
99	Techno Beat 10
100	Drum Skins
101	Lo Percussion
102	Hi Percussion
103	Velocity Switch
104	Velocity Layers
105	Single Percussion
106	Indian Percussion
107	Temple Blocks
108	Percussion Bazaar
109	Agogo Gamelan
110	Clicks and Sticks
111	SFX/1
112	SFX/2
113	SFX/3
114	SFX/4
115	SFX/5
116	Brush Snare Kit
117	Orchestral Set
118	Various Percussion 1
119	Various Percussion 2
120	Various Percussion 3
121	Various Percussion 4
122	Various Percussion 5
123	Cymbal Set

BASS Programs

0	Live Bass
1	Studio Bass
2	Epic Bass
3	Funk Bass
4	Ballad Bass
5	Acoustic Bass
6	Modern Bass
7	Synth Bass
8	Techno Bass
9	Big Bottom Bass
10	SubSlap Bass
11	Digital Acoustic
12	Bass Harmonics
13	No Frets
14	Acoustic Jazz
15	Digital Pick
16	TechnoAnalog
17	Tabla Bass Tones
18	Tight Analog
19	Analog Fifths
20	Temple Tones
21	Quadra Bass
22	Analog Touch
23	Picked Acoustic
24	Bass Dive

25	AnalogOctaves
26	SynthTomBass
27	Lo Sine
28	Digi Slap Bass
29	Tumba Tones
30	Conga Keys
31	PowerTom Bass
32	Becoming Bass
33	Harmonics Bass
34	Bass with Harmonics
35	Picked Funk Bass
36	Picked Jazz
37	Picked Techno
38	Acoustic Techno
39	Power Funk
40	Pops/Pulls Split
41	EpicBass Jam/1
42	Tribal Bass Jam/2
43	Wooden Bass
44	Jazz Bass
45	Funk Pops
46	FunkPulls
47	Picked Bass
48	Analog Bass
49	Digi Bass

Preset Groove List

Groove Patterns			Default	bars		Groove Patterns			Default	bars	
G01	JUNGLE	[PAD 1]		2	Drums	G53	KICK 1			2	
G02	FUNK			2		G54	KICK 2			2	
G03	REGGAE			4		G55	KICK 3			2	
G04	16BEAT			1		G56	KICK 4			2	
G05	ROCK			2		G57	KICK 5			2	
G06	PERSIAN			2		G58	KICK 6			2	
G07	RAP 1			2		G59	KICK 7			2	
G08	RAP 2			2		G60	SNARE 1			2	
G09	SKA 1			2		G61	SNARE 2			2	
G10	SKA 2			2		G62	SNARE 3			2	
G11	INDUSTRIAL 1			2		G63	HAT 16th 1			2	
G12	INDUSTRIAL 2	[PAD 2]		2		G64	HAT 16th 2			2	
G13	INDUSTRIAL 3			2		G65	HAT OPEN			2	
G14	TECHNO 1	[PAD 4]		2		G66	HAT & RIDE 1			2	
G15	TECHNO 2			2		G67	HAT & RIDE 2			2	
G16	TECHNO 3			2		G68	HAT & RIDE 3			2	
G17	TECHNO 4	[PAD 3]		2		G69	HAT & RIDE 4			2	
G18	KICK/SNARE & HAT			2		G70	RIDE 1			2	
G19	KICK & SNARE 1			2		G71	RIDE 2			2	
G20	KICK & SNARE 2			2		G72	RIDE & TAMBOURINE			2	
G21	KICK & SNARE 4			2		G73	TOMS 1			2	
G22	KICK & SNARE 5			2		G74	TOMS 2			2	
G23	KICK & SNARE 6			2		G75	TOMS 3			2	
G24	KICK & SNARE 7			2		G76	SHAKER 1			2	
G25	KICK/SNARE & TOM 1			2		G77	SHAKER 2			2	
G26	KICK/SNARE & TOM 2			2		G78	SHAKER 3			2	
G27	KICK/SNARE & TOM 3			2		G79	SHAKER & TAMB			2	
G28	KICK & TOMS 1			2		G80	TAMBOURINE & HAT			2	
G29	MARCH TOM			2		G81	TAMBOURINE 1			2	
G30	SFX 1			2		G82	TAMBOURINE 2			2	
G31	SFX 2			2		G83	CLAVES			2	
G32	SFX 3			2		G84	AGOGO			2	
G33	PERCUSSION JAM 1	[PAD 6]		2	G85	TRIANGLE			2		
G34	PERCUSSION JAM 2			2	G86	CONGAS 1			2		
G35	TABLA JAM	[PAD 7]		2	G87	CONGAS 2			2		
G36	HIGH PERCUSSION			2	G88	CONGAS 3			2		
G37	TIMBALES & AGOGO			2	G89	CONGA & GUIRO 1			2		
G38	BASS 1			1	G90	CONGA & GUIRO 2			2		
G39	BASS 2			2	G91	COWBELL 2			2		
G40	BASS 3			2	G92	KICK & SNARE RIFF			2		
G41	BASS 4			2	G93	SNARE RIFF	[PAD 5]		2		
G42	BASS 5			2	G94	HATS RIFF			2		
G43	BASS 6	[PAD 13]		2	G95	TOM RIFF			2		
G44	BASS 7			2	G96	COMBI-HIT 1			2		
G45	BASS 8	[PAD 9]		1	G97	COMBI-HIT 2			2		
G46	BASS 9	[PAD 11]		2	G98	COMBI-HIT 3			2		
G47	BASS 10			4	G99	COMBI-HIT 4			2		
G48	BASS 11			1							
G49	ARPEGGIO	[PAD 10]		1							
G50	ETHNIC RIFF	[PAD 12]		2							
G51	SLOW ARPEGGIO			2							
G52	LONG PAD	[PAD 8]		8							

1. TRANSMITTED DATA

NONE.

2. RECOGNIZED DATA

1) CHANNEL VOICE MESSAGES

STATUS	SECOND	THIRD	DESCRIPTION
1000 nnnn	0kkk kkkk	0vvv vvvv	NOTE OFF (See NOTE 1) kkk kkkk : Note No. vvv vvvv : Note Off Velocity (ignored)
1001 nnnn	0kkk kkkk	0000 0000	NOTE OFF (See NOTE 1) kkk kkkk : Note No.
1001 nnnn	0kkk kkkk	0vvv vvvv	NOTE ON (See NOTE 1) kkk kkkk : Note No. vvv vvvv : Note On Velocity (not 0)
1011 nnnn	0ccc cccc	0vvv vvvv	CONTROL CHANGE ccc cccc : Control No. 7 Volume 11 Expression 83 SoundChange (See NOTE 2) vvv vvvv : Control Value
1100 nnnn	0ppp pppp	---- ----	PROGRAM CHANGE ppp pppp : Program Number (See NOTE 3)
1110 nnnn	0vvv vvvv	0vvv vvvv	PITCH BENDER CHANGE (See NOTE 4) vvv vvvv vvv vvvv Pitch Bend Value

NOTE: nnnn = MIDI Channel Number (0000 - 1111)

1. Note Off Messages on Drum Channel(s) will be ignored.
2. Default Control Value of SoundChange is 64.
3. Relationship between Program Numbers and Kit Numbers are assigned as described in Drum Kits/Bass Program List.
4. Pitch Bend values will be used only MS7bits.
Pitch Bending will be effected continuously on Bass Channel.
Pitch Bender Message on Drum Channel(s) will change initial pitch at Note On.

2) CHANNEL MODE MESSAGE

STATUS	SECOND	THIRD	DESCRIPTION
1011 nnnn	0111 1000	0000 0000	ALL SOUNDS OFF
1011 nnnn	0111 1001	0000 0000	RESET ALL CONTROLLERS
1011 nnnn	0111 1011	0000 0000	All NOTES OFF
1011 nnnn	0111 1100	0000 0000	ALL NOTES OFF

NOTE: nnnn = MIDI Channel Number (0000 - 1111)

3) SYSTEM COMMON MESSAGE, SYSTEM REAL TIME MESSAGE

STATUS	SECOND	THIRD	DESCRIPTION
1111 0011	0sss ssss	---- ----	SONG SELECT sss ssss : Song No. 0-98
1111 1000	---- ----	---- ----	TIMING CLOCK
1111 1010	---- ----	---- ----	START
1111 1011	---- ----	---- ----	CONTINUE
1111 1100	---- ----	---- ----	STOP

NOTE:

Function ...	Transmitted	Recognized	Remarks
Basic Default Channel Changed		1-16 1-16	Memorized for every tracks
Mode Default Messages Altered	*****	3	
Note Number True voice	*****	0-127	
Velocity Note ON Note OFF		o x	
After Key's Touch Ch's		x x	
Pitch Bend		o	MS7bits
Control Change		7 11 83 120 121	Volume Expression SoundChange All Sounds Off Reset All Ctrls
Prog Change True #	*****	o 0-127	
System Exclusive		x	
System Song Pos Song Sel Common Tune		x o x	
System Clock Real Time Commands		o o	
Aux Local ON/OFF All Notes OFF Mes- Active Sense sages Reset		x o x x	
Notes	No transmitted messages.		

Mode 1 : OMNI ON, POLY
 Mode 3 : OMNI OFF, POLY

Mode 2 : OMNI ON, MONO
 Mode 3 : OMNI OFF, MONO

o : Yes
 x : No

MEMO

MEMO



株式会社ズーム

〒183-0022 東京都府中市宮西町2-10-2 ノアビル1階 TEL: 0423-69-7111 FAX: 0423-69-7115

Printed in Japan 234-5010